THE ANNUAL REPORT ON ARCHAEOLOGICAL RESEARCHES
KUMAMOTO UNIVERSITY/2005

12

熊本大学埋蔵文化財調査室年報　2005年度

2006　熊本大学埋蔵文化財調査室

THE ANNUAL REPORT ON ARCHAEOLOGICAL RESEARCHES

KUMAMOTO UNIVERSITY/2005

12

熊本大学埋蔵文化財調査室年報　2005年度

2006　熊本大学埋蔵文化財調査室

序　文

熊本大学は、旧制第五高等学校を中心にいくつかの学校を統合再編して、戦後設置された新制大学である。このため、本学の8つのキャンパスは市内を中心に点在しているが、そのほとんどが県下でも有数の遺跡群内にある。熊本大学では、現地再開発と文化財保護の観点から、埋蔵文化財調査委員会および埋蔵文化財調査室を設置し、1994年以降発掘調査を実施している。本書は、平成17年度に実施された調査の概要である。

黒髪北地区において実施された発掘調査では、同南地区に続いて奈良時代・平安時代の集落址が確認された。10世紀にできた律令の施行規則である『延喜式』にはすでに「蚕養(こかい)駅」が記録されている。その遺跡そのものはまだ突き止められていないが、現在の黒髪付近であったと予測される。今回の調査はその当時黒髪地区一帯に展開した古代集落の情報を提供したといえる。また、さらに下にある縄文時代早期以来の遺物包含層を再確認したことも成果である。

黒髪南地区では、小規模ながら多くの地点で調査を実施した。その結果、広い敷地内の地下の情報を得る好機となり、今後の再開発計画と実施において有用な情報を得た。

本荘北地区で実施された調査では、奈良時代・平安時代の住居址群とともに、未確認であった古墳時代中期の住居址群を確認することができた。古墳時代の集落変遷の空白を埋める、大きな成果といっていいだろう。

このように、工事に先立って行われた発掘調査により、本年も多くの成果を得た。ここに報告する本年度の調査成果が、考古学をはじめとする各分野の研究に広く活用され、その進展に大きく寄与することを期待する。

2006年3月

埋蔵文化財調査委員会

委員長　伊　藤　重　剛

例　言

1．本書は熊本大学構内において，2005年４月１日から2006年３月31日まで行われた埋蔵文化財の調査および熊本大学埋蔵文化財調査室の活動内容に関する年次報告書である．

2．構内遺跡の調査は，昨年度に引き続き，年次と調査順を表す調査番号で表すこととし，出土遺物や記録類もこの番号で整理・管理している．

3．遺跡略号は，地区ごとにローマ字３文字で以下のように表記した．黒髪町遺跡黒髪南地区（KKS），同北地区（KKN），本庄遺跡本庄北地区（HJH），同本庄中地区（HJM），同本庄南地区（KHJ），大江遺跡群大江地区（HJP）．

4．遺物への注記は，遺跡略号＋調査番号＋出土遺構（位置）の順で行った．

5．本書に掲載した遺物やその他の出土遺物，調査に係わる記録類はすべて熊本大学埋蔵文化財調査室にて保管している．

6．本書で使用した遺構実測図は小畑弘己・大坪志子・檀佳克をはじめとする調査参加者が，製図は小畑・大坪が行った．

7．遺構実測には手描による記録とともに遺跡調査汎用システム（カタタ Ver.３－アーケオテクノ社），アイシン精機株式会社の遺跡実測支援システム「遺構くん」および製図システム「トレース３Ｄくん」を使用した．

8．本書の執筆は，付篇および抄録を中川が，Ⅰ章・英文サマリー・ハングルサマリーを小畑が，Ⅱ章は小畑・大坪・檀が行った．

9．本書の編集は大坪・小畑が行った．

目次

<本文目次>

第Ⅰ章　本年度の調査概要 ―――― 1
第Ⅱ章　調査の記録 ―――― 7
Ⅱ－1　黒髪北地区 ―――― 7
1.（黒髪）情報ネットワーク館本体工事に伴う発掘調査（0425）―――― 7
2.（黒髪）情報ネットワーク館仮設進入路工事に伴う立会調査（0508）―――― 7
3.（黒髪北）学務部倉庫取設工事に伴う立会調査（0519）―――― 7
4.（黒髪）情報ネットワーク館設備工事に伴う立会調査（0525）―――― 10
5.（黒髪北）文法学部本館スロープ整備工事に伴う立会調査（0527）―――― 11
6.（黒北）ボイラー室給水管補修工事に伴う立会調査（0533）―――― 11
7.（黒髪）情報ネットワーク館設備工事（追加）に伴う立会調査（0538）―――― 11
8.（黒髪）情報ネットワーク館新営工事に伴う外構工事に伴う立会調査（0546）―――― 12
9.（黒髪）北地区学生会館西側バイク置場設置工事に伴う立会調査（0547）―――― 13
10. ぎ木補修工事に伴う立会調査（0550）―――― 13
Ⅱ－2　黒髪南地区 ―――― 14
1.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513工④）―――― 14
2.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513理②）―――― 14
3.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513工⑤）―――― 14
4.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う発掘調査（0513①）―――― 16
5.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513工⑥）―――― 17
6.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－4に伴う立会調査（0513工⑬）―――― 17
7.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513工⑫）―――― 17
8.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1に伴う立会調査（0513工⑦）―――― 17
9.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513工⑧）―――― 18
10.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1に伴う立会調査（0513理③）―――― 18
11.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1に伴う立会調査（0513理④）―――― 18
12.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513工⑪）―――― 18
13.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513工⑩）―――― 19
14.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1に伴う立会調査（0513理①）―――― 19
15.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1に伴う立会調査（0513理⑤）―――― 19
16.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513工⑨）―――― 20
17.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－5に伴う立会調査（0513工⑭）―――― 20
18.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1に伴う立会調査（0513工⑮）―――― 20
19.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513工②）―――― 21
20.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2，3に伴う立会調査（0513工③）―――― 21
21. 埋文調査室内部改修機械設備工事に伴う立会調査（0526）―――― 22
22.（黒髪南）工学部ものづくり実習室新営工事に伴う立会調査（0528）―――― 22
23. 旧情報処理センター屋外階段取設工事に伴う立会調査（0531）―――― 23
24. 黒髪南地区囲障改修工事に伴う立会調査（0534）―――― 23
25.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513工⑯）―――― 23
26.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513理⑥）―――― 24
27.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513工⑰）―――― 24
28.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513工⑱）―――― 25
29.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513工⑲）―――― 25
30.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2，5に伴う立会調査（0513工⑳）―――― 26

31. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－1に伴う立会調査 (0513工㉑) ――26
32. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査 (0513工㉒) ――27
33. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－1に伴う立会調査 (0513工㉓) ――27
34. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査 (0513工㉔) ――27
35. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－7に伴う立会調査 (0513工㉕) ――27
36. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－7に伴う立会調査 (0513工㉖) ――28
37. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査 (0513理⑦) ――28
38. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－1, 2に伴う立会調査 (0513理⑧) ――28
39. 理学部プレハブ倉庫新営工事に伴う立会調査 (0537) ――29
40. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査 (0513理⑨) ――29
41. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う発掘調査 (0513理⑩) ――30
42. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査 (0513理⑪) ――30
43. (黒髪南) 理学部駐輪場整備工事 (追加, 再追加を含む) に伴う立会調査 (0541) ――30
44. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－7に伴う立会調査 (0513工㉗) ――31
45. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査 (0513工㉘) ――32
46. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－1に伴う立会調査 (0513工㉙) ――32
47. (黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－3に伴う立会調査 (0513工㉚) ――32

Ⅱ－3　黒髪東地区 ――32

1. 教育学部附属養護学校給水引き込み漏水補修に伴う立会調査 (0532) ――32

Ⅱ－4　本荘北地区 ――33

1. 医学部附属病院排水貯留槽ポンプアップ排水管補修に伴う立会調査 (0502) ――33
2. (医病) 基幹・環境整備 (設備・曳き家前) (0505) ――33
3. (医病) 基幹・環境整備 (曳き家・移動先) に伴う発掘調査 (0509) ――33
4. 本荘団地北地区雨水配管補修に伴う立会調査 (0511) ――36
5. (医病) 基幹・環境整備 (曳き家・現在地) に伴う立会調査 (0517) ――36
6. 附属病院都市ガス設備改修工事に伴う立会調査 (0518) ――36
7. 本荘団地北地区入退院棟前スロープ取設工事に伴う立会調査 (0520) ――36
8. 本荘団地 (北地区) 台風倒木引起しに伴う立会調査 (0521) ――37
9. (医病) 管理棟屋外給水バルブ取替工事に伴う立会調査 (0522) ――37
10. (医病) 中央診療棟 (仕上げ) 工事に伴う立会調査 (0523) ――37
11. (医病) 外来臨床研究棟玄関前環境整備に伴う立会調査 (0529) ――38
12. (医病) 基幹・環境整備 (曳き家・移動経路) に伴う立会調査 (0542) ――38
13. 附属病院職員厚生施設園庭整備に伴う立会調査 (0543) ――39
14. (医病) 基幹・環境整備 (設備・曳き家後) に伴う立会調査 (0544) ――39
15. (医病) 外来化学療法センター屋外汚水配管工事に伴う立会調査 (0549) ――40

Ⅱ－5　本荘中地区 ――40

1. (本荘) 発生医学研究センター施設整備事業 (外構) に伴う立会調査 (0503) ――40
2. (本荘中) 敷地境界ブロック改修工事に伴う立会工事 (0507) ――41
3. 本荘団地中地区外灯設備工事に伴う立会調査 (0516) ――42
4. 医学部弓道場設備工事に伴う立会調査 (0536) ――42
5. 本荘団地 (中地区) ゴミ置場取設に伴う立会調査 (0539) ――42
6. 本荘団地 (中地区) 渡り廊下設置に伴う立会調査 (0548) ――43

Ⅱ－6　本荘南地区 (九品寺地区) ――43

1. 本荘団地南地区駐車場環境整備工事 (追加) (0501) ――43
2. 医学部南地区テニスコート内給水設備工事に伴う立会調査 (0514) ――44
3. 本荘団地 (南地区) 駐車場環境整備工事 (その2), 追加変更に伴う立会調査 (0515) ――45
4. 本荘団地 (南地区) 埋設ガス管改修工事に伴う立会調査 (0540) ――45

Ⅱ－7　城東地区――――46
1．教育学部附属幼稚園物置設置に伴う立会調査(0512)――――46
2．教育学部附属幼稚園ブランコ用ゴムマット布設に伴う立会調査（0545）――――46
Ⅱ－8　大江地区（薬学部）――――46
1．（大江）薬学部テニスコートフェンス取設に伴う立会調査（0506）――――46
2．大江団地（北地区）駐車ゲート整備工事に伴う立会調査（0524）――――47
3．薬学部温床室（苗床温室）補修工事に伴う立会調査（0530）――――48
Ⅱ－9　新南部地区（教育学部附属農場）――――48
1．教育学部新南部農場竹藪抜根に伴う立会調査(0535)――――48
Ⅱ－10　宇留毛地区――――48
1．小碩宿舎埋設ガス配管漏れ補修・新設工事に伴う立会調査（0504）――――49
跋文――――51
Summary――――52
付篇1――――53
付篇2――――55
報告書抄録――――57

＜図版目次＞

図1　黒髪町遺跡・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図（1／25000）――――2
図2　黒髪北地区における調査地点配置図(1／2000) 8
図3　黒髪南地区における調査地点配置図（1／2000）――――15
図4　0513工①調査地点全体図（1／125)――――16
図5　0513工⑯調査地点住居址実測図（1／20）――24
図6　本荘北地区における調査地点配置図(1／2000)―34
図7　0509調査地点遺構配置実測図（1／400)――35
図8　本荘南地区における調査地点配置図(1／2000)―41
図9　九品寺地区における調査地点配置図(1／2000)―44
図10　薬学部地区における調査地点配置図(1／2000)―47

＜写真目次＞

写真1　0425調査地点出土石権――――7
写真2　0508調査地点掘削完了状況（南より）――7
写真3　0519調査地点調査風景（西より）――――10
写真4　0519調査地点北西隅トレンチ土層（西より）10
写真5　0525調査地点掘削風景（西より）――――10
写真6　0525調査地点桝部分掘削完了状況（北より）―10
写真7　0527調査地点南側玄関工事箇所（東より）―11
写真8　0527調査地点中庭行工事風景（西より）――11
写真9　0527調査地点掘削状況（南より）――――11
写真10　0538調査地点ガス管掘削完了状況（南より）12
写真11　0538調査地点住居の検出状況（東より）――12
写真12　0546調査地点配管部分掘削完了状況(西より)―13
写真13　0546調査地点舗装箇所掘削状況（北より）―13
写真14　0546調査地点南側外灯掘削完了状況(西より)―13
写真15　0547調査地点作業風景（西より）――――13
写真16　0547調査地点掘削状況（北より）――――13
写真17　0550地点ぎ木復旧状況（南東より）――――14
写真18　0513工④調査区掘削状況（東より）――――14
写真19　0513理②調査地点樹木抜根状況（西より）―14
写真20　0513工①調査地点全景（西より）――――16
写真21　0513工①調査地点第2号住居址竈（南より）―16
写真22　0513工⑥区掘削完了状況（西より）――――17
写真23　0513工⑬区包含層検出状況（西より）――17
写真24　0513工⑫区掘削完了状況（西より）――――17
写真25　0513工⑦区掘削完了状況（西より）――――18
写真26　0513理④区スロープ撤去状況（北より）――18
写真27　0513工⑪区掘削完了状況（東より）――――19
写真28　0513理①調査区全景（西上より）――――19
写真29　0513理①調査区住居址遺物出土状況（南より）19
写真30　0513理⑤調査地点掘削完了状況（南より）―20
写真31　0513工⑭調査地点遺構面検出状況(東より)―20
写真32　0513工⑭調査地点検出ピット（東より）――20
写真33　0513工⑮調査地点破砕作業風景（南東より）21
写真34　0513工②調査地点遺構面検出状況（東より）21
写真35　0513工③調査地点調査区完掘状況（東より）21
写真36　0513工③調査地点調査区完掘状況（北西より）――――22
写真37　0513工③調査地点掘削状況（南より）――22
写真38　0526調査地点調査風景（北より）――――22
写真39　0526調査地点掘削状況（北より）――――22
写真40　0528調査地点建物基礎部分掘削状況（東より）――――23
写真41　0528調査地点設備配管部掘削状況（北より）23
写真42　0531調査地点作業風景（南より）――――23
写真43　0531調査地点土層状況（西より）――――23
写真44　0513工⑯調査地点第1号住居址（南より）―24
写真45　0513工⑯調査地点第1号住居址竈断面（南より）――――24
写真46　0513理⑥調査区全景（西より）――――24
写真47　0513工⑰外灯基礎部分土層（東より）――25
写真48　0513工⑱2トレンチ・ピット検出状況

（北より）――――――――――――――――25
写真49　0513工⑱２トレンチ作業風景（北より）――25
写真50　0513工⑲作業風景（北より）――――――――25
写真51　0513工⑲１トレンチ掘削状況（南より）――26
写真52　0513工⑲２トレンチ掘削状況（北より）――26
写真53　0513工⑳調査区全景（東より）――――――26
写真54　0513工⑳掘削部土層（南より）――――――26
写真55　0513工㉑調査地点全景（北西より）――――27
写真56　0513工㉒調査地点掘削状況（南より）――――27
写真57　0513工㉓調査地点掘削風景（西より）――――27
写真58　0513工㉕調査地点調査風景（東より）――――28
写真59　0513理⑦調査地点掘削状況（西より）――――28
写真60　0513理⑧調査地点スロープ部掘削状況
（東より）――――――――――――――――29
写真61　0513理⑧調査地点中央階西側掘削状況
（北より）――――――――――――――――29
写真62　0537調査地点設備配管部（東より）――――29
写真63　0537調査地点プレハブ基礎部（北より）――29
写真64　0513理⑨調査地点掘削状況（東から）――――30
写真65　0513理⑩調査区全景（北より）――――――30
写真66　0541調査地点上屋基礎掘削全景（東より）―31
写真67　0541調査地点基礎部分掘削状況（西より）―31
写真68　0541調査地点２トレンチ掘削状況（北より）31
写真69　0541調査地点電気配線部掘削状況（南より）31
写真70　0513工29調査地点調査風景（南東より）――32
写真71　0513工29調査地点樹木用掘削部全景
（南東より）――――――――――――――32
写真72　0502調査地点掘削状況（西より）――――――33
写真73　0509調査地点調査区全景（東から）――――33
写真74　0509調査地点第97号住居址遺物出土状況
（南西より）――――――――――――――33
写真75　0509調査地点第33号溝全景（北より）――――35
写真76　0509調査地点第121号住居址竈（東より）――35
写真77　0509調査地点第98号住居址（南より）――――35
写真78　0511調査地点掘削状況（東より）――――――36
写真79　0518調査地点掘削部西壁土層（東から）――36
写真80　0520調査地点全景（南西より）――――――37
写真81　0520調査地点掘削部土層（南より）――――37
写真82　0521調査地点掘削部（北西より）――――――37
写真83　0522調査地点掘削部土層（北西より）――――37
写真84　0523調査地点掘削部５土層（北より）――――38
写真85　0529調査地点作業風景（南東より）――――38
写真86　0529調査地点東南部掘削状況（東より）――38
写真87　0529調査地点西南部掘削部（西より）――――38
写真88　0542調査地点掘削状況（西より）――――――39
写真89　0543調査地点作業風景（南西より）――――39
写真90　0543調査地点掘削状況（南より）――――――39
写真91　0544調査地点作業風景（北東より）――――39
写真92　0544調査地点電気配線部掘削状況（西より）39
写真93　0544調査地点設備配管部（南より）――――40
写真94　0549調査地点掘削状況（北より）――――――40
写真95　0549調査地点土層状況（東より）――――――40
写真96　0503調査地点掘削部２土層（西より）――――41
写真97　0507調査地点遠景（北より）――――――――41
写真98　0507調査地点１トレンチ掘削状況（東より）42
写真99　0516調査地点外灯基礎部土層（北より）――42
写真100　0536調査地点トレンチ土層（北より）――――42
写真101　0539調査地点作業風景（北東より）――――42
写真102　0539調査地点掘削状況（北より）――――――43
写真103　0539調査地点掘削状況（西より）――――――43
写真104　0548調査地点掘削箇所全景（東より）――――43
写真105　0548調査地点掘削状況（南より）――――――43
写真106　0501調査地点トレンチＡ土層（南より）――44
写真107　0501調査地点トレンチＤ土層（南より）――44
写真108　0514調査地点掘削完了状況（東より）――――45
写真109　0515調査地点作業風景（南より）――――――45
写真110　0515調査地点トレンチ３土層（北東より）―45
写真111　0512調査地点南西部掘削完了状況（北より）46
写真112　0506調査地点調査区遠景（南より）――――46
写真113　0506調査地点１トレンチ掘削状況（東より）46
写真114　0524調査地点マンホール部土層（南より）―47
写真115　0524調査地点電線埋設部土層（南西より）―47
写真116　0530調査地点作業風景（北西より）――――48
写真117　0530調査地点掘削状況（北より）――――――48
写真118　0535調査地点作業風景（南より）――――――48
写真119　0535調査地点掘削状況（西より）――――――48
写真120　0504調査地点基礎部掘削風景（北西より）―49
写真121　0504調査地点配線部掘削状況（東より）――49

＜表目次＞

表１　熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧――― 1
表２　2005年度調査一覧――――――――――――― 3

第Ⅰ章　本年度の調査概要

本年度は表２のとおり，発掘調査６件，立会調査82件を実施した．また，本年は熊本市文化課による試掘調査は実施されていない．

本年度実施した発掘調査は，黒髪北地区の情報ネットワーク工事に伴う調査（0425），本荘北地区の（医病）基幹・環境整備事業（曳き家先）に伴う調査（0509）に加えて，黒髪南地区工学部他校舎改修等施設整備事業に伴う立会調査の過程で遺構が発見され，発掘調査に切り替えたもの（0513工①，理①，理⑥，理⑩）がある．

情報ネットワーク本体工事に伴う調査（0425）では，８世紀～９世紀前半代にかけての竪穴住居址30軒，古代の掘立柱建物址２棟，古代の溝６条を検出している．遺物は，古代の土師器・須恵器，古代の鉄器，石権などのほか，縄文時代早期～晩期の土器・石器などがある．

本調査によってこれまで黒髪南地区を中心に検出されていた古代の集落が黒髪北地区南部にも広がることが確認できた．黒髪地区は既往の調査によって，7世紀末～９世紀前半代の竪穴住居址を中心とした集落址が存在することが確認されていた．また，延喜式にみる「蚕養駅」に関連する掘立柱建物や道路状の遺構なども黒髪南地区西部および黒髪北地区東部を中心に検出されており，これら官衙施設に付随して発展した集落群と考えられる．今回の成果はこの公的な施設と居住区との位置関係を探る上で貴重な空間的情報を増強したといえよう．また，その下部に縄文時代の早期以来の遺物が存在することも，これまでの成果をさらに補強した．

また，黒髪南地区で実施された工学部他校舎改修等施設整備事業に伴う発掘調査（0513工①，理①，理⑥，理⑩）においては，既往の成果を裏付けるように古代を中心とした竪穴住居址などの遺構が多数検出された．建築物などによって破壊されていないところには濃密な遺構が広がっていることを予測させた調査結果であった．本荘北地区の大学病院内で実施された山崎記念館移設に伴う発掘調査（0509）では，大きくは，7世紀後半～９世紀前半を中心とした古代の竪穴住居址群・溝，5世紀代の古墳時代中期の竪穴群，遺構は検出していないが縄文時代後晩期の遺物群の３つの時期の痕跡を確認した．

本調査地点の南側には2004年度に調査を実施した0411地点があり，古墳時代と古代の遺構群はともにこの地点から連続している．出土遺物としては，各時期の陶磁

表１　熊本大学敷地埋蔵文化財包蔵地指定一覧（アミ部分は本年度調査した地区を示す）

No.	地区名（学部名）	所在地	遺跡名称	遺跡の種類	遺跡の時代	備　考
1	黒髪北地区（法・文・教・大教センター）黒髪北地区（教育学部附属養護学校）	熊本市黒髪２丁目40－１ 熊本市黒髪５丁目17－１	黒髪町遺跡	集落址	縄文・弥生・奈良・平安	
2	黒髪南地区（工・理）	熊本市黒髪２丁目39－１	黒髪町遺跡	集落址	縄文・弥生・奈良・平安	
3	京町地区（教育学部附属小・中学校）	熊本市京町本丁５－12	京町台遺跡	集落址	弥生・近世	
4	城東地区（教育学部附属幼稚園）	熊本市城東５－９	熊本城址	城館址・熊本城関連遺構	近世	
5	教育学部新南部農場	熊本市新南部居屋敷240－１	新南部遺跡	散布地	縄文・弥生	
6	理学部臨海実験所	上天草市松島町合津6061	前島貝塚	集落址	縄文・弥生	1995年度の調査によって貝塚でないことが判明
7	本荘南地区（医）	熊本市本荘２丁目２－１	本庄遺跡	散布地・集落址	縄文・弥生・奈良・平安・中世	
8	本荘北地区（医学部附属病院）	熊本市本荘１丁目１－１	本庄遺跡（熊大病院敷地遺跡）	散布地・集落址・墓地	縄文・弥生・古墳・奈良・平安・近代	
9	九品寺地区（医療技術短期大学部）	熊本市九品寺４丁目24－１	本庄遺跡	散布地・集落址	縄文・弥生・奈良・平安・中世	周辺遺跡
10	薬学部（薬）	熊本市大江本町５－１	大江遺跡群	官衙址	奈良・平安	周辺遺跡
11	大江地区	熊本市渡鹿４丁目１－１	大江遺跡	集落址	奈良・平安	
12	宇留毛地区（職員宿舎）	熊本市黒髪７丁目	宇留毛神社周辺遺跡群	散布地	弥生・奈良・平安・古墳・中世	

図１　黒髪町遺跡・本庄遺跡の位置と周辺遺跡の分布図（1/25000）

表２　2005年度調査一覧

調査期日	調査番号	地点名	調査の種類	調査面積	時代	遺構・遺物
05・4・19～4・20	0501	本荘団地南地区駐車場環境整備工事（追加）	立会調査	28㎡	古代	土師器・須恵器
05・4・27	0502	医学部附属病院排水貯留槽ポンプアップ排水管補修	立会調査	4㎡		遺構・遺物なし
05・2・14～6・10	0425	（黒髪）情報ネットワーク館本体工事	発掘調査	1065.2㎡	縄文・古代	竪穴住居址・掘立柱建物・縄文土器・土師器・須恵器・黒色土器
05・5・30 6・4～6・5 6・14	0503	（本荘）発生医学研究センター施設整備事業（外構）	立会調査	2337.2㎡		遺構・遺物なし
05・6・7 6・10	0504	小磧宿舎埋設ガス配管漏れ補修・新設工事	立会調査	7㎡		遺構・遺物なし
05・6・9～6・10 6・12	0505	（医病）基幹・環境整備（設備・曳き家前）	立会調査	55.96㎡		遺構・遺物なし
05・6・20	0506	（大江）薬学部テニスコートフェンス取設	立会調査	2.28㎡		遺構・遺物なし
05・6・21	0507	（本荘中）敷地境界ブロック改修工事	立会調査	10.5㎡		遺構・遺物なし
05・7・8	0508	（黒髪）情報ネットワーク館仮設進入路工事	立会調査	40.9㎡	古代	土師器・須恵器
05・7・13～7・14 7・19～9・30	0509	（医病）基幹・環境整備（曳き家・移動先）	発掘調査	1147㎡	縄文・弥生 古墳・古代	住居址・溝・土師器・須恵器
05・7・19	0511	本荘団地北地区雨水配管補修	立会調査	7.6㎡	古代	包含層・土師器・須恵器
05・8・1	0512	教育学部附属幼稚園物置設置	立会調査	0.96㎡		遺構・遺物なし
05・8・2～8・3	0513工④	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	9.7㎡	古代	土師器・須恵器
05・8・2～8・25	0513理②	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	198.75㎡	古代	土師器・須恵器
05・8・5	0514	医学部南地区テニスコート内給水設備工事	立会調査	19.94㎡		遺構・遺物なし
05・8・5～8・10	0513工⑤	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	17.8㎡		遺構・遺物なし
05・8・8～8・18	0513工①	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	発掘調査	80.88㎡	古代	住居址・土師器・須恵器
05・8・18	0515	本荘団地（南地区）駐車場環境整備工事（その２），追加変更	立会調査	235.98㎡	古代	住居址・土師器・須恵器
05・8・18～8・23	0513工⑥	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	14.7㎡		遺構・遺物なし
05・8・19～8・29	0513工⑬	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－4	立会調査	259㎡		遺構・遺物なし
05・8・24	0516	本荘団地中地区外灯設備工事	立会調査	11.4㎡		遺構・遺物なし
05・8・23～8・29	0513工⑫	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	17.2㎡		遺構・遺物なし
05・8・25	0513工⑦	（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	14.7㎡		遺構・遺物なし

調査期日	調査番号	地点名	調査の種類	調査面積	時代	遺構・遺物
05・8・25	0513工⑧	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	86.1㎡		遺構・遺物なし
05・8・25	0513理③	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	65㎡		遺構・遺物なし
05・8・25	0513理④	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	120.25㎡		遺構・遺物なし
05・8・29～8・30	0513工⑪	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	24.6㎡		遺構・遺物なし
05・8・30～9・1	0513工⑩	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	20.4㎡		遺構・遺物なし
05・9・1～9・13	0513理①	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－1	発掘調査	67.6㎡	縄文・古代	竪穴住居址・縄文土器・土師器・須恵器
05・9・1 9・20	0517	(医病) 基幹・環境整備 (曳き家・現在地)	立会調査	1337㎡		遺構・遺物なし
05・9・4～9・5	0513理⑤	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	48.75㎡		遺構・遺物なし
05・9・12～9・27	0513工⑨	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	43.9㎡		遺構・遺物なし
05・9・13	0518	附属病院都市ガス設備改修工事	立会調査	29㎡		遺構・遺物なし
05・9・14	0519	(黒髪北) 学務部倉庫取設工事	立会調査	157.76㎡		遺構・遺物なし
05・9・15	0513工⑭	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－5	立会調査	0.79㎡		ピット
05・9・15	0513工⑮	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業―1	立会調査	40.5㎡		
05・9・15	0520	本荘団地北地区入退院棟前スロープ取設工事	立会調査	17.18㎡		遺構・遺物なし
05・9・15	0521	本荘団地 (北地区) 台風倒木引起し	立会調査	2.355㎡		遺構・遺物なし
05・9・16～10・2	0513工②	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	97.342㎡	古代	土師器・須恵器
05・9・16	0522	医学部附属病院管理棟屋外給水バルブ取替工事	立会調査	2.25㎡		遺構・遺物なし
05・9・27	0523	(医病) 中央診療棟 (仕上)	立会調査	57.6㎡		遺構・遺物なし
05・10・11～11・7	0513工③	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2, 3	立会調査	150㎡		
05・10・11	0524	本荘団地 (北地区) 駐車ゲート整備工事	立会調査	261.33㎡		遺構・遺物なし
05・10・13～10・14 10・17～10・18	0525	(黒髪) 情報ネットワーク館設備工事	立会調査	73.6㎡	古代	柱穴・土師器・須恵器
05・10・14	0526	埋文調査室内部改修機械設備工事	立会調査	2.0㎡		遺構・遺物なし
05・10・19～10・20	0527	(黒髪北) 文法学部本館スロープ整備工事	立会調査	44㎡		遺構・遺物なし
05・10・21	0528	(黒髪南) 工学部ものづくり実習室新営工事	立会調査	810㎡		遺構・遺物なし

調査期日	調査番号	地点名	調査の種類	調査面積	時代	遺構・遺物
05・10・25	0529	(医病) 外来臨床研究棟玄関前環境整備工事	立会調査	381.12㎡		遺構・遺物なし
05・10・26	0530	薬学部温床室（苗床温室）補修工事	立会調査	5.5㎡		遺構・遺物なし
05・11・4	0531	旧情報処理センター屋外階段取設工事	立会調査	9㎡		遺構・遺物なし
05・11・7	0532	教育学部附属養護学校給水引き込み漏水補修	立会調査	3.5㎡		遺構・遺物なし
05・11・7	0533	(黒北) ボイラー室給水管補修工事	立会調査	1.1㎡		遺構・遺物なし
05・11・16 11・21	0534	黒髪南地区囲障改修工事	立会調査	124.3㎡		遺構・遺物なし
05・11・29 12・15	0513工⑯	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	48㎡	古代	住居址・柱穴
05・11・29～ 12・5	0513理⑥	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	発掘調査	24㎡		
05・12・4	0513工⑰	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	117.4㎡		土師器
05・12・7	0513工⑱	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	87㎡		
05・12・9	0513工⑲	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	25㎡		
05・12・12	0513工⑳	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2，5	立会調査	30㎡		遺構・遺物なし
05・12・12	0535	教育学部新南部農場竹藪抜根	立会調査	455.7㎡		柱穴
05・12・13	0513工㉑	(黒髪南) 工学部他校舎改修等施設整備事業－1	立会調査	0.5㎡		遺構・遺物なし
05・12・13	0513工㉒	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	3㎡		
05・12・13	0513工㉓	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	87.5㎡		遺構・遺物なし
05・12・13	0513工㉔	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	18㎡		遺構・遺物なし
05・12・14	0513理⑦	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	86.6㎡		
05・12・14	0536	医学部弓道場設備工事	立会調査	82.73㎡		遺構・遺物なし
05・12・15	0513理⑧	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－1，2	立会調査	286.5㎡		(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－1，2
05・12・16 12・27	0537	理学部プレハブ倉庫新営工事	立会調査	167㎡		遺構・遺物なし
05・12・19～ 12・21 12・26 06・1・6～ 1・11 2・27～ 3・2	0538	(黒髪) 情報ネットワーク館設備工事（追加）	立会調査	70.235㎡		土師器・須恵器
05・12・22	0539	本荘団地（中地区）ゴミ置場取設	立会調査	48.51㎡		遺構・遺物なし
05・12・26	0513理⑨	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	10㎡		遺構・遺物なし

調査期日	調査番号	地点名	調査の種類	調査面積	時代	遺構・遺物
06・1・4～1・19	0513理⑩	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	発掘調査	89㎡	古代	住居址・土師器・須恵器
06・1・5	0513理⑪	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	70㎡		遺構・遺物なし
06・1・10 1・25	0540	本荘団地 (南地区) 埋設ガス管改修工事	立会調査	61.8㎡		遺構・遺物なし
06・1・17	0513工㉕	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－7	立会調査	1㎡		遺構・遺物なし
06・1・20	0513工㉖	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－7	立会調査	708㎡		遺構・遺物なし
06・1・26 2・2 2・10 2・27	0541	(黒髪南) 理学部駐輪場整備工事 (追加・再追加含む)	立会調査	1110.6㎡	古代	土師器・須恵器
06・1・23	0513工㉗	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－7	立会調査	45.4㎡		遺構・遺物なし
06・1・24	0513工㉘	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－2	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし
06・1・26	0513工㉙	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－1	立会調査	40㎡		遺構・遺物なし
06・1・27	0542	(医病) 基幹・環境整備 (曳き家・移動経路)	立会調査	1464㎡		遺構・遺物なし
06・1・30	0513工㉚	(黒髪南) 工学部他校舎改修施設整備等事業－3	立会調査	656.1㎡		遺構・遺物なし
06・2・13	0543	附属病院職員厚生施設園庭整備	立会調査	338.9㎡		遺構・遺物なし
06・2・16 3・13	0544	(医病) 基幹・環境整備 (設備・曳き家後)	立会調査	39㎡		遺構・遺物なし
06・2・17	0545	教育学部附属幼稚園ブランコ用ゴムマット布設	立会調査	12㎡		遺構・遺物なし
06・2・24 3・7～ 3・8 3・13 3・16～ 3・17	0546	(黒髪) 情報ネットワーク館新営工事に伴う外構工事	立会調査	1837㎡	古代	住居址・土師器・須恵器
06・3・10	0547	(黒髪) 北地区学生会館西側バイク置場設置工事	立会調査	48㎡		遺構・遺物なし
06・3・13	0548	本荘団地 (中地区) 渡り廊下設置	立会調査	5.5㎡		遺構・遺物なし
06・3・24	0549	(医病) 外来化学療法センター屋外汚水配管工事	立会調査	1.92㎡		遺構・遺物なし
06・3・30	0550	ぎ木補修工事	立会調査	0.91㎡		遺構・遺物なし

器・須恵器・土師器・土器類を主体として大型コンテナ40箱ほどが出土した．特殊な遺物としては中世～近世の銭，近世？刀子，古代の鉄鏃・石錘，古墳時代の石錘・管玉，縄文時代の磨製石斧や黒曜石片などがある．

今回の調査は0411調査地点とあわせて，本遺跡内においてこれまで空白であった古墳時代中期の集落を把握できたという点で大きな成果と考えられる．

第II章　調査の記録

II—1　黒髪北地区　（図2参照）

1．（黒髪）情報ネットワーク館本体工事に伴う発掘調査（0425）

＜調査期間＞

2005年2月14日～6月10日

＜調査対象面積＞

1065.2㎡

＜調査員・参加者＞

大坪志子・檀　佳克.

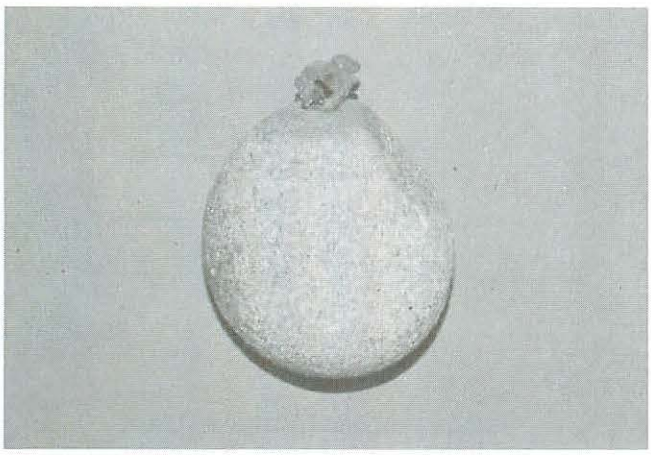
荒田敬介・飯田和典・石場裕章・稲本佳子・今村結記・内田昌昭・江頭俊介・岡村清貴・岡田イツ代・緒方ちひろ・沖謙介・押方富江・河野義勝・栗崎強・倉員キヨ子・後藤章一・小細工洋子・児島良美・児島絵利香・紫垣親男・白石美智子・高田豊・溜淵俊子・鶴田修・仁志正幸・畠田栄一・畑中儀介・林田恵美・林田恵子・早田咲百合・番山明子・平井弥生・開田直・福島暢也・福田久美子・堀川貞子・前田宏一郎・前田日出男・増山洋江・松井昭子・水上順子・南健太郎・三好栄太郎・森川征子・森川護・森田登・山隈博陽・山隈房子・山口霽満・山岡早苗・吉田慶一.

＜調査概要・結果＞

本調査は，情報ネットワーク館（附属図書館南棟・放送大学熊本学習センターの合築）の新築に伴うものである.

建物新営に伴い，実働約3ヶ月の発掘調査を実施した.その結果，古代の遺構を検出した．主な遺構は，竪穴住居址30軒，古代の掘立柱建物址2棟，古代の溝6条であり，遺物は縄文土器，縄文時代の石器，古代の土師器・須恵器，古代の鉄器，石権などである.詳細は，報告書（熊本大学埋蔵文化財調査室報告書第3集）を参照されたい.

写真1　0425調査地点出土石権



2．（黒髪）情報ネットワーク館仮設進入路工事に伴う立会調査（0508）

＜調査期間＞

2005年7月8日

＜調査対象面積＞

40.9㎡

＜調査員＞

檀　佳克.

＜調査概要・結果＞

情報ネットワーク館新営工事の車両進入路用スロープを整備する掘削に伴い，立会調査を実施した．既設の街灯・看板や樹木を撤去した後に，最大で地表からの深さ70cmまでの掘削を，重機により行った．調査区東端の石垣から西へ1.5mまでは盛土であったが，それ以西の部分では，地表より深さ30cmで黒褐色混砂土層（10YR 2/1，古代の包含層）を検出し，そこから15～30cmの深さで古代の遺構面（10YR 3/4）に達することを確認した．掘削は，黒色の包含層がかかる部分について10cm程慎重に掘下げを行い，数点の土師器片が出土したが遺構は検出されなかった.

包含層まで掘削が達したので，掘削部分に盛土や鉄板をしいて包含層を保護するよう依頼し，調査を終えた.

原状復旧工事は2006年4月に実施されたが，工事による遺跡の掘削はなかった.

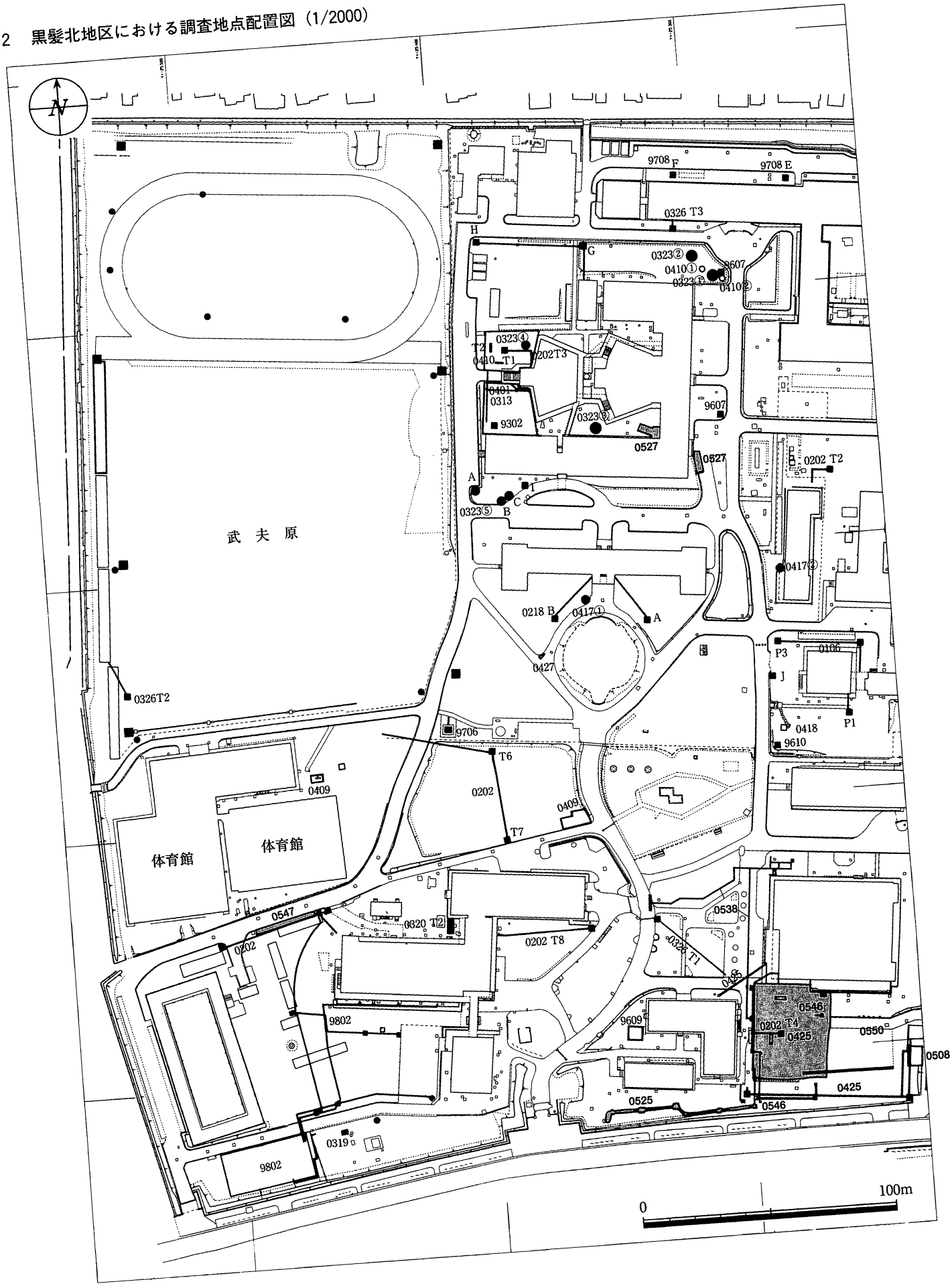
写真2　0508調査地点掘削完了状況（南より）

3．（黒髪北）学務部倉庫取設工事に伴う立会調査（0519）

＜調査期間＞

2005年9月14日

図２　黒髪北地区における調査地点配置図（1/2000）



N
0012-1
9407
0202T1
0106
0533
0532
A
0708 B
C
D
0109
9604
0012-2
0201
0519
T5 0202
0012
0216
100m

＜調査対象面積＞

157.79㎡

＜調査員＞

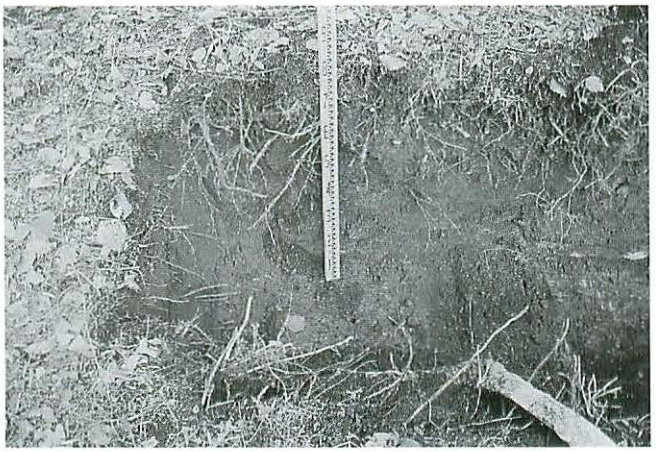
小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

基礎部分の掘削深度（80cm）に達しても，現代の埋め土であり，遺構・遺物ともに検出していない.

写真３　0519調査地点調査風景（西より）

写真４　0519調査地点北西隅トレンチ土層（西より）



４.（黒髪）情報ネットワーク館設備工事に伴う立会調査（0525）

＜調査期間＞

2005年10月13日～14日，17～18日

＜調査対象面積＞

73.6㎡

＜調査員・参加者＞

檀　佳克.

今村明美・児玉洋平・林貴暢・林田恵子・早田咲百合・福田久美子・堀川貞子・桃井哲夫・森川征子・森川護・森田登.

＜調査概要・結果＞

写真５　0525調査地点掘削風景（西より）

写真６　0525調査地点桝部分掘削完了状況（北より）

本工事は情報ネットワーク館建設に伴う汚水配管工事である．立会のもと，黒髪北地区南端の赤門東側付近にて掘削を東西方向に行った.

調査区中央部分は撹乱を受けていたが，調査区西側では地表より120cmの深さで黒色混砂土層（10YR 2／2・古代の包含層）を検出し，同層を東側では深さ90cmで検出した．包含層上面では遺構は検出されなかった.

調査区の東半部分では，工事に必要な深度が浅く，遺跡保存の措置をして掘削を終了した.

掘削区西半部分では，施工に深い掘削が必要であり，遺跡に影響があることが判明したので，発掘調査を実施した．黒色混砂土層を下げた後に，その下層（10YR4/3黄褐色混砂土層）上面で精査を行った．ピット状の穴が８基検出されたが，すべて樹痕であると判断された.

その後，12月に，南北方向の掘削箇所で立会調査を行った．深さ75cmで古代の遺物包含層（10YR 2／1・黒色混砂土層）を検出した．排水枡設置部分のみ工事による影響があったので，包含層を掘り下げて数点の土師器片を得た．その下層（10YR 3／4 黄褐色混砂土，古

代の遺構面）まで，あと数cmで到達するものと思われ，ピット状遺構が２基検出したが，施工に問題が無く現状保存が可能であった為，砂を敷いて養生し施工するよう指示し，調査を完了した．

５．（黒髪北）文法学部本館スロープ整備工事に伴う立会調査（0527）

＜調査期間＞

2005年10月19日～20日

＜調査対象面積＞

44㎡

＜調査員＞

大坪志子．

＜調査概要・結果＞

文法学部棟の南側玄関前，及び西側の中庭への通用口にスロープを設置する工事である．

南側玄関前は既存のアスファルトを除去し，下の砕石を均す程度で，土の掘削はなかった．

中庭側は，スロープ支柱部分を掘削したが埋土内であり，包含層や遺構面，遺物の検出はなかった．

写真７　0527調査地点南側玄関工事箇所（東より）

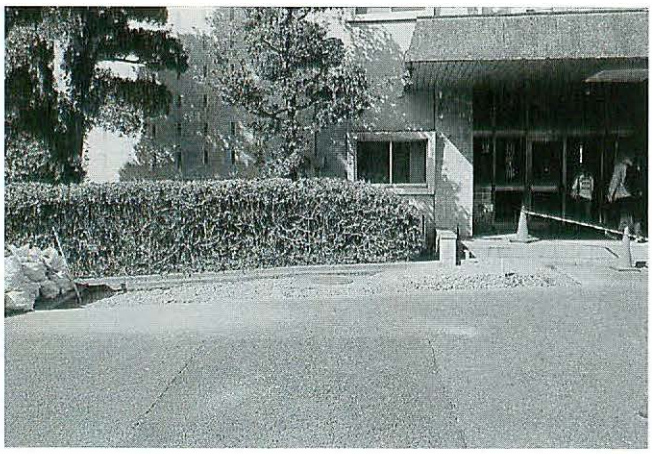


写真８　0527調査地点中庭行工事風景（西より）

写真９　0527調査地点掘削状況（南より）

６．（黒北）ボイラー室給水管補修工事に伴う立会調査（0533）

＜調査期間＞

2005年11月７日

＜調査対象面積＞

1.1㎡

＜調査員＞

小畑弘己．

＜調査概要・結果＞

手堀りによって掘削するが，既存の埋設管を入れている部分に相当し，すでに破壊を受けている．遺構・遺物ともに検出していない．

７．（黒髪）情報ネットワーク館設備工事（追加）に伴う立会調査（0538）

＜調査期間＞

2005年12月19日～21日・26日

2006年１月６日～11日

2006年２月27日～３月２日

＜調査対象面積＞

70.235㎡

＜調査員＞

檀　佳克．

＜調査概要・結果＞

本工事は，情報ネットワーク館への配管に伴うものであり，既設配管部分のみ１m，他は地表面より深さ60cmの掘削計画であった．

工事当日に施設部担当者と業者から，西端の既設配管部分のみ拡張して掘削を行いたい旨相談があり，施工前に施設部担当者から市文化財課に指導を仰ぐよう指示した．熊本市文化財課からは，調査員立会のもと掘削し，

事後申請するよう指導があったとのことであり，工事立会のもと掘削を実施した．

西端部分は既設配管に沿って東西125cm，南北530cmの範囲で深さ160cmまで下げたが，撹乱を受けており包含層，遺構面，遺物の検出はなかった．

その地点から東方向へ幅50cm，深さ60cmで掘削を行ったが，掘削地点は25～40cmの盛土がなされており，包含層に達することなく掘削を完了した．

図書館周辺のガス配管による掘削では，図書館建設時の掘方内での掘削であり，遺跡への影響は無かった．情報ネットワーク館に伴なう調査の結果から，附属図書館建設時の掘削は，附属図書館本体から，南側は５ｍ，西側は８ｍ50cm，北側西半部は５ｍの範囲である可能性が高く，その範囲内は撹乱を受けていると判断された．

その後，情報ネットワーク館西側・北側の汚水管埋設に伴なう掘削を３月に実施した．集水枡設置箇所では，竪穴住居址床面および，その竈の一部を１軒検出し，土師器２片が出土した．住居址の平面形は不明であるが，今回掘削した部分の西側に竈が存在している可能性が高く，西側に竈が付く住居址プランが想定された．

その他の汚水管埋設の掘削でも，古代の遺物包含層を，地表からの深さ55～65cmで検出し，土師器片・須恵器片が数点出土している．

本工事は当初の計画を大幅に超えた掘削を要したが，市教育委員会の格別の御配慮により工事が止まることはなく，また，幸いにして遺跡破壊もなく，当初の予定通りに掘削を完了した．とはいえ，遺跡の記録保存調査のために大幅な工期変更の可能性があったのも事実であり，充分な事前計画のもと施工することが課題となる調査であった．

写真10　0538調査地点ガス管掘削完了状況（南より）

写真11　0538調査地点住居の検出状況（東より）

８．（黒髪）情報ネットワーク館新営工事に伴う外構工事に伴う立会調査（0546）

＜調査期間＞

2006年２月24日

2006年３月７日～８日

2006年３月13日

2006年３月16日～17日

＜調査対象面積＞

1837㎡

＜調査員＞

檀　佳克．

＜調査概要・結果＞

本工事では，情報ネットワーク館からの汚水管設置及び，館周辺の舗装と外灯設置による掘削に伴って立会調査を実施した．

当初に掘削深度が深く，遺跡に達する可能性の高かった配管部分の掘削から開始したが，深さ70センチほどで古代の包含層に達し，そこからは慎重に手堀りでの掘削を行い，包含層中より土師器・須恵器を得たが，遺構は検出されなかった．掘削深度よりも下位まで包含層があったため，山砂で十分な養生をして下位は未掘のまま埋め戻した．

情報ネットワーク館周辺は，北に行くほど包含層までの深度が浅くなることが0425調査地点の成果で判明していたため，舗装工事でも数箇所で試掘を実施し，掘削区北東側では30cmほどの深さで包含層に達することが確認された．ただし，工事に必要な掘削は25cm程度ということであり，現地にて遺跡の層を示し，それより深い掘削がないことを確認して調査を終了している．

外灯設置箇所は撹乱箇所及び0425調査地点内であり，一部包含層を下げたが、遺物の出土はなかった．

写真12　0546調査地点配管部分掘削完了状況（西より）

写真13　0546調査地点舗装箇所掘削状況（北より）

写真14　0546調査地点南側外灯掘削完了状況（西より）

9．（黒髪）北地区学生会館西側バイク置場設置工事に伴う立会調査（0547）

＜調査期間＞

2006年３月10日

＜調査対象面積＞

48㎡

＜調査員＞

大坪志子．

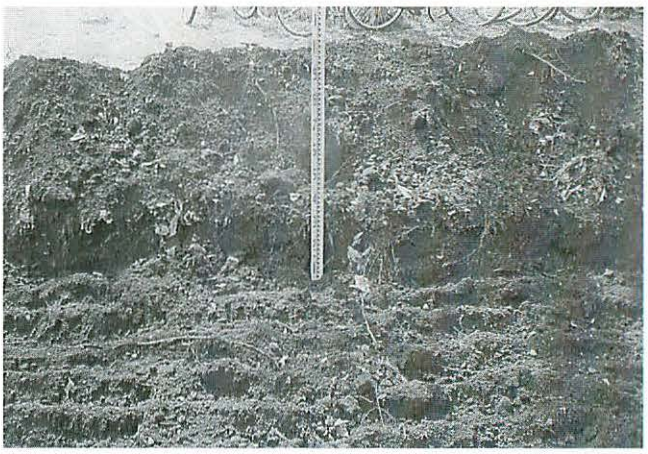
＜調査概要・結果＞

現在舗装されていない場所を，若干すき取り舗装する工事である．

幅２ｍ，長さ14ｍの範囲を深さ0.2～0.3ｍすき取った．埋土中の工事であり，包含層・遺構面に達することはなく，遺物の出土も無かった．

写真15　0547調査地点作業風景（西より）

写真16　0547調査地点掘削状況（北より）



10．ぎ木補修工事に伴う立会調査（0550）

＜調査期間＞

2006年３月30日

＜調査対象面積＞

0.91㎡

＜調査員＞

檀　佳克．

＜調査概要・結果＞

情報ネットワーク館外構工事の際に，図書館南側の囲

い用のコンクリート製擬木が傾いた為，それを復旧する為に，スコップで深さ25cm程度の掘削を５箇所で実施した．表土層までの掘削であり，本工事による遺跡の破壊はなかった．

写真17　0550地点ぎ木復旧状況（南東より）

Ⅱ―２　黒髪南地区　（図３参照）

1.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－２に伴う立会調査（0513工④）

＜調査期間＞

2005年８月２日～３日

＜調査対象面積＞

9.7㎡.

＜調査員＞

樫　佳克.

＜調査概要・結果＞

雨水配管の取替に伴う掘削である．工学部１号館から離れる西側部分では，地表より深さ120cmで古代の遺物包含層である黒褐色混砂土（Hue10YR ２/１）を検出した．工事ではさらに20cmの掘削を要したので，人力で包含層を20cm下げ，土師器片が出土したが包含層内で掘削を完了した．遺構は検出されなかった．施工時には山砂で遺跡面を保護するとのことであったため，下位を保存した状態で掘削を完了している．

写真18　0513工④調査区掘削状況（東より）

2.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－２に伴う立会調査（0513理②）

＜調査期間＞

2005年８月２日～25日

＜調査対象面積＞

198.75㎡

＜調査員＞

樫　佳克.

＜調査概要・結果＞

理学部１号館の改修工事に先立ち，事前に樹木の抜根を実施する際の掘削に伴って，立会調査を実施した．径70cm～150cmの間で最大で深さ１ｍほどの掘削を74箇所で行った．

中庭部分では，深さ60cmで古代の遺物包含層（10YR ２/２）が検出され，特に理学部１号館北側と南東側では，深さ45cmほどで包含層に達する．抜根に伴って表土層および包含層より数点の土師器・須恵器が出土したが，遺構は確認されなかった．

写真19　0513理②調査地点樹木抜根状況（西より）

3.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－２に伴う立会調査（0513工⑤）

＜調査期間＞

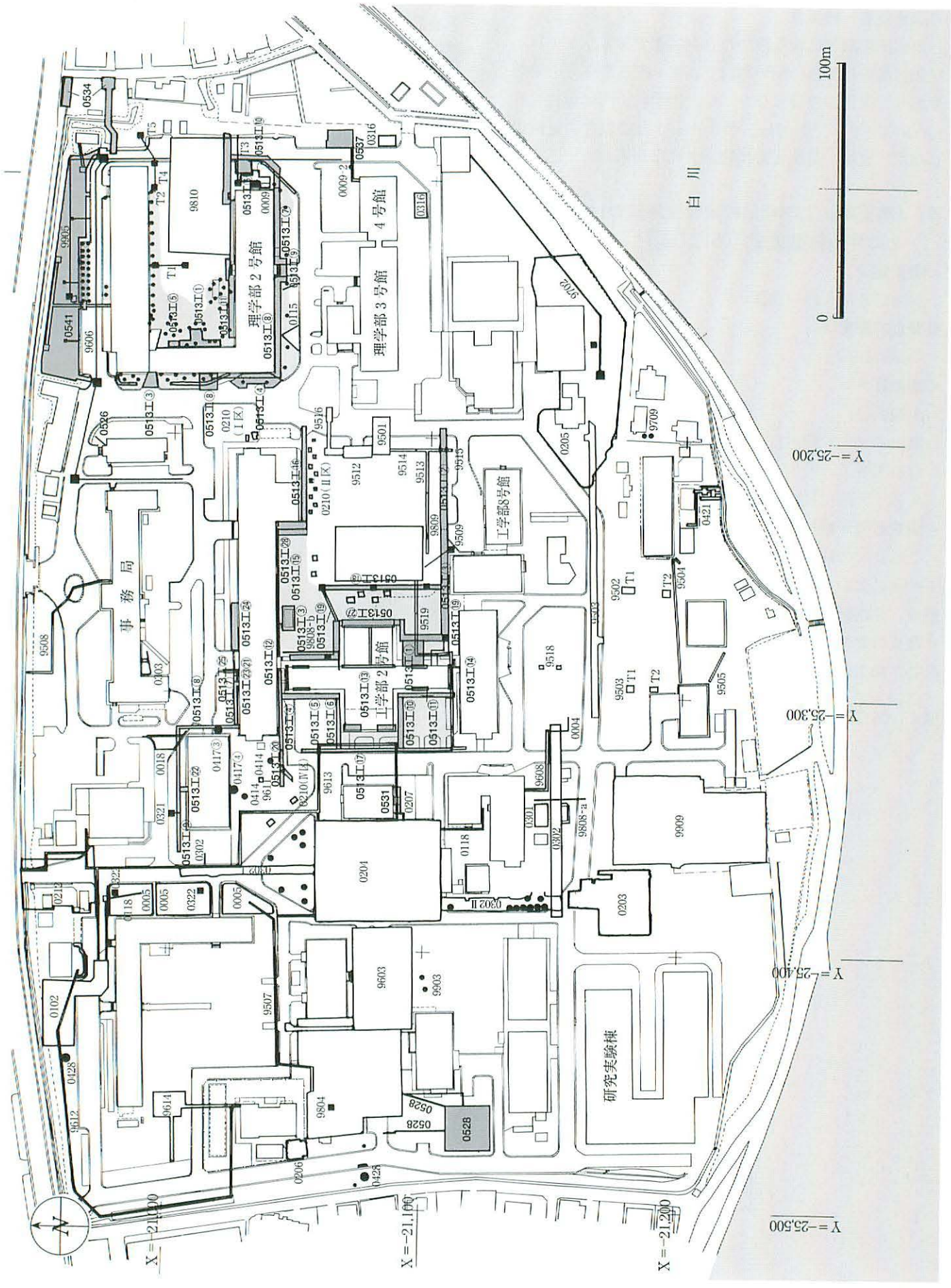
2005年８月５日～10日

＜調査対象面積＞

17.8㎡

＜調査員＞

図3　黒髪南地区における調査地点配置図（1/2000）



檀　佳克.

＜調査概要・結果＞

雨水配管取替に伴う掘削の立会調査である.

配管部分は深さ60cmの掘削で表土・撹乱層までの掘削であり，遺跡の破壊はなかった．枡設置箇所は地表より150cmの深さまで掘削し，深さ90cmで一部包含層を検出したが，遺物・遺構ともに検出されなかった.

4．（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う発掘調査（0513工①）

＜調査期間＞

2005年8月8日～18日

＜調査対象面積＞

80.88㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

岡田イツ代・押方富江・小田須磨子・川越キヤウ子・白石美智子・田上次敏・田上利子・早田咲百合・福田久美子・前田日出男・森川征子・森川護.

＜調査概要・結果＞

これまでの周辺で実施された既往の調査の結果，地表下80cmにおいて遺構面が検出される恐れがあり，表土掘削後，発掘調査に切り替えた.

調査の結果，古代竪穴住居址3基，柱穴多数が検出された．出土遺物としては，土師器・須恵器などコンテナ2箱ほどが検出されている.

写真20　0513工①調査地点全景（西より）

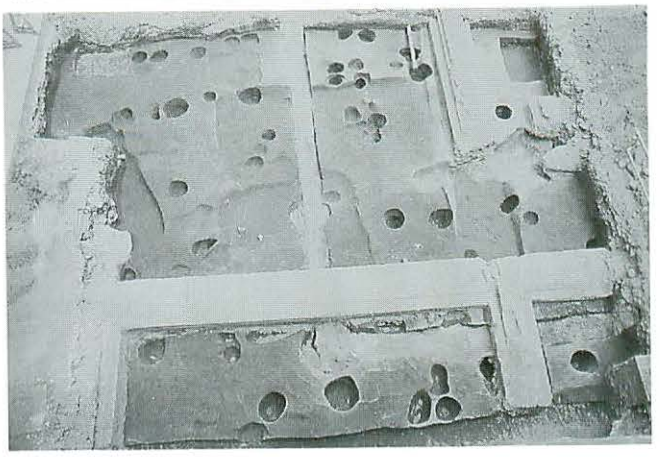
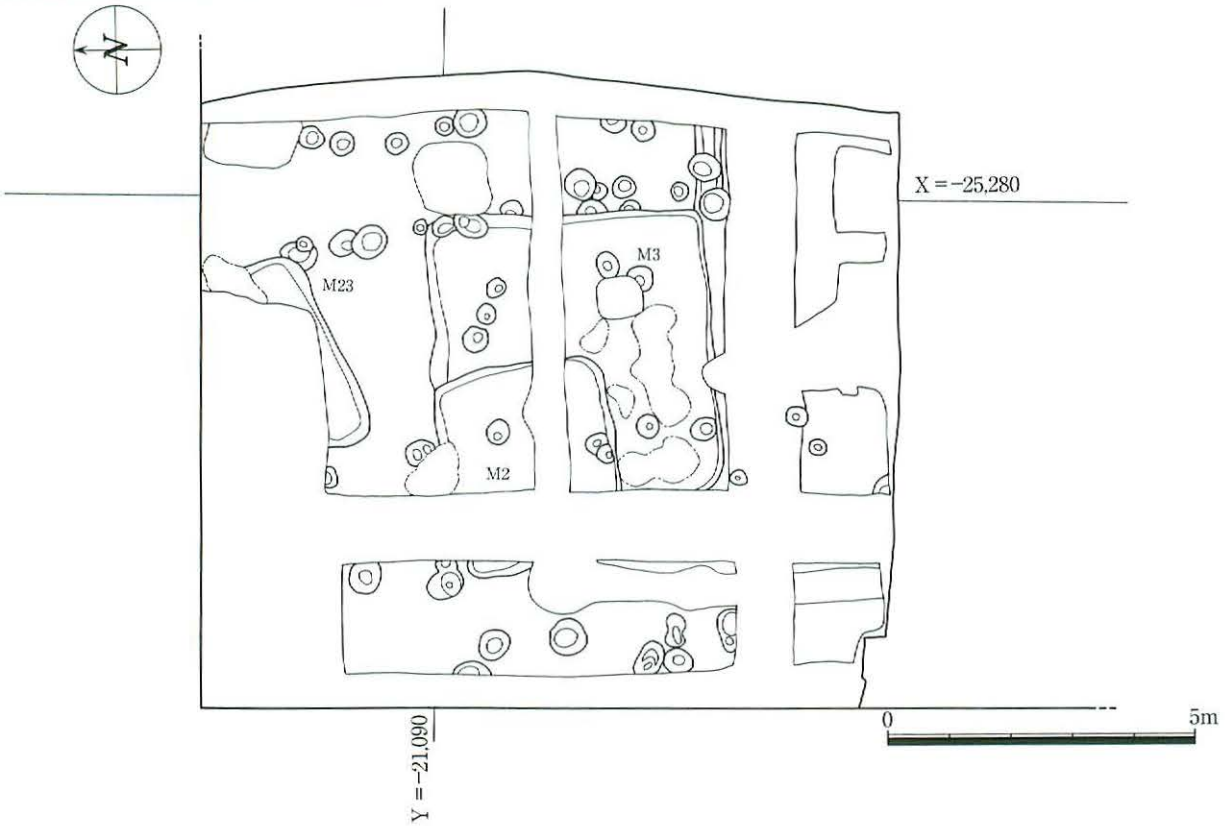


写真21　0513工①調査地点第2号住居址竈（南より）

図4　0513工①調査地点全体図（1／125）



5．（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513工⑥）

＜調査期間＞

2005年８月18日～23日

＜調査対象面積＞

14.7㎡

＜調査員＞

檀　佳克.

＜調査概要・結果＞

雨水配管取替の掘削に伴う立会調査で，最大で地表より深さ120cmまで掘削した．調査区西端では深さ120cmで古代の遺物包含層と思われる黒褐色混砂土が検出されたが，工事にそれ以上の掘削を要しなかったので，山砂敷設で遺跡を保護して施工された．遺構・遺物の出土はなかった．

写真22　0513工⑥区掘削完了状況（西より）

6．（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－4に伴う立会調査（0513工⑬）

＜調査期間＞

2005年８月19日～29日

＜調査対象面積＞

259㎡

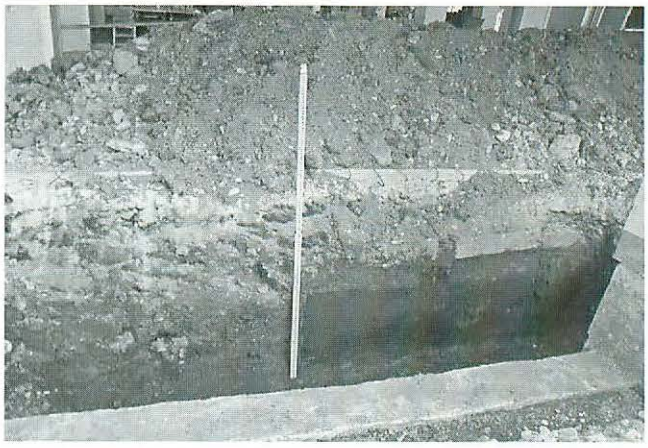
＜調査員＞

檀　佳克.

＜調査概要・結果＞

工学部２号館の耐震補強のため，建物基礎付近にて掘削がなされた．工学部２号館建設時の掘方の範囲内で掘削を完了しているが，数箇所の掘削区壁面では深さ90cm前後で古代の遺物包含層と思われる黒褐色混砂土（10YR ２／１）が露出しており，工学部２号館の地下でも遺跡が残存していることが判明した．本工事では，遺物・遺構は検出されなかった．

写真23　0513工⑬区包含層検出状況（西より）



7．（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513工⑫）

＜調査期間＞

2005年８月23日～29日

＜調査対象面積＞

17.2㎡

＜調査員＞

檀　佳克.

＜調査概要・結果＞

雨水配管取替・避雷針埋設に伴う掘削で，深さ60cm程度の掘削を実施したが，表土・撹乱層までの掘削であり，本工事では，遺物・遺構は検出されなかった．

写真24　0513工⑫区掘削完了状況（西より）

8．（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1に伴う立会調査（0513工⑦）

＜調査期間＞

2005年８月25日

＜調査対象面積＞

14.7㎡

＜調査員＞

檀　佳克.

＜調査概要・結果＞

雨水配管取替とガス管設置に伴う掘削の立会調査である.

掘削では，地表から深さ70cmまで掘削を行ったが，従来埋設されていた配管が検出され，その上位に新設配管が設置されたため，既設管の掘方内での掘削で完了している.

遺物・遺構は検出していない.

写真25　0513工⑦区掘削完了状況（西より）

9.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513工⑧）

＜調査期間＞

2005年8月25日

＜調査対象面積＞

86.1㎡

＜調査員＞

檀　佳克.

＜調査概要・結果＞

0513工⑦区に続いて実施した，ガス管設置に伴う掘削の立会調査である．既設の水道管が検出され，その水道管設置時の掘方の中での掘削であったため，本工事による遺跡の破壊はなかった.

10.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1に伴う立会調査（0513理③）

＜調査期間＞

2005年8月25日

＜調査対象面積＞

65.0㎡

＜調査員＞

檀　佳克.

＜調査概要・結果＞

理学部1号館西側のスロープの基礎撤去に伴う立会調査である．極力スロープ範囲の外や下位を掘削しないように基礎の撤去を行い，深さ45cmまでの掘削で工事が完了した．撹乱部分のみの掘削で遺跡への影響はなかった.

11.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1に伴う立会調査（0513理④）

＜調査期間＞

2005年8月25日

＜調査対象面積＞

120.25㎡

＜調査員＞

檀　佳克.

＜調査概要・結果＞

上述の0513理③調査区と同様のスロープ撤去工事であり，遺跡の破壊はなかった.

写真26　0513理④区スロープ撤去状況（北より）

12.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513工⑪）

＜調査期間＞

2005年8月29日～30日

＜調査対象面積＞

24.6㎡

＜調査員＞

檀　佳克.

＜調査概要・結果＞

雨水配管付け替えに伴う掘削の立会調査である．掘削の結果，既設の雨水配管を撤去して，そこに新設の雨水配管を設置する工事となったため，既設管の掘方内での掘削で工事は完了し，遺物・遺構の検出はなかった.

写真27　0513工⑪区掘削完了状況（東より）

13.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513工⑩）

＜調査期間＞

2005年８月30日～９月１日

＜調査対象面積＞

20.4㎡

＜調査員＞

檀　佳克.

＜調査概要・結果＞

0513工⑪調査地点と同工事の掘削の立会調査で，深さ85cmまでの掘削を行い，底面で一部古代の包含層と思われる黒褐色混砂土（10YR ２／１）が検出された．桝設置箇所のみ工事による掘削が必要であり，20cm程包含層を掘削し，土師器・須恵器片が少量出土したが，本工事による遺構の検出はなかった．

14.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1に伴う立会調査（0513理①）

＜調査期間＞

2005年９月１日～９月13日

＜調査対象面積＞

67.6㎡

＜調査員＞

檀　佳克.

＜調査概要・結果＞

本工事は，理学部１号館中庭西端部分に雨水配管を埋設する工事に伴う掘削の立会調査で，工程の都合で事前に掘削のみを行い，後日再掘削して施工することとなった．また掘削当日には，隣接するスロープ設置箇所も含めた掘削の依頼があり，配管部分に遺跡がほとんど遺存していないことが確認できた時点で，その箇所も含めた掘削の立会調査を実施した．

掘削の結果，深さ85cmで包含層に達することが判明し，発掘調査に切り替えた．調査では，古代の竪穴住居址３軒が検出され，包含層・竪穴住居址から土師器・須恵器・鉄鏃が出土している．

写真28　0513理①調査区全景（西上より）

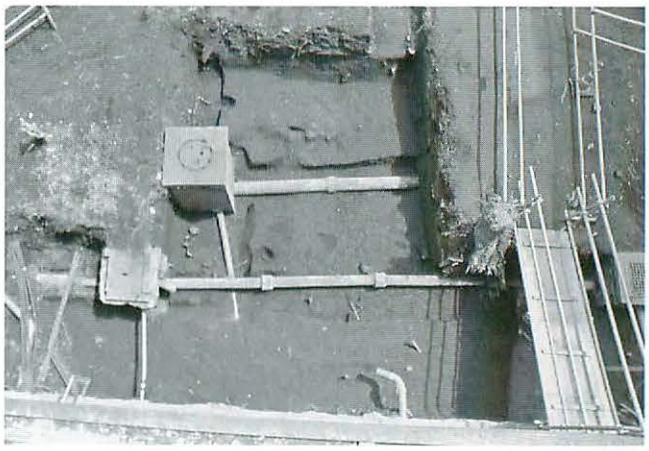


写真29　0513理①調査区住居址遺物出土状況（南より）

15.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1に伴う立会調査（0513理⑤）

＜調査期間＞

2005年９月４日～５日

＜調査対象面積＞

48.75㎡

＜調査員＞

檀　佳克.

＜調査概要・結果＞

0513理①調査区に隣接する場所にある既設物置の基礎撤去にともなう掘削の立会調査であり，0513理①調査区の調査期間中に撤去工事がなされた．周囲の土に影響がないようにコンクリート基礎を外して工事が完了している．配管で掘削申請が出ていた地点であったので，配管

の深度まで掘削を行うか協議したが，配管工事の際に改めて立会調査を実施することとなり，下位の掘削は行わずに埋め戻して工事を完了している．遺物・遺構の検出はない．

写真30　0513理⑤調査地点掘削完了状況（南より）

16.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513工⑨）

＜調査期間＞

2005年9月12日～27日

＜調査対象面積＞

43.9㎡

＜調査員＞

檀　佳克.

＜調査概要・結果＞

ガス配管に伴う掘削の立会調査である．深さ40～60cm程の掘削を幅50cmで行ったが，掘削深度も浅いうえ，掘削区南壁には既設の共同溝壁体が露出しており，掘方内での掘削であることが明らかであった．本工事による遺物・遺構の検出はなかった．

17.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－5に伴う立会調査（0513工⑭）

＜調査期間＞

2005年9月15日

＜調査対象面積＞

0.79㎡

＜調査員＞

檀　佳克.

＜調査概要・結果＞

0513工①調査地点に隣接した箇所であり，0513工①地点の掘削で露出した既設ガス配管のルート変更に伴う掘削である．露出しているガス配管に沿って，幅80cmで奥行き50cmまで人力で掘削した．ガス管設置時の撹乱の範囲内であったが，ガス管下位には包含層と遺構面が遺存しており，その箇所も工事の掘削が必要であったため，調査を実施した．包含層からは遺物の出土はなかったが，その下位でピット1基が検出された．遺物の出土はなかった．

写真31　0513工⑭調査地点遺構面検出状況（東より）

写真32　0513工⑭調査地点検出ピット（東より）

18.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1に伴う立会調査（0513工⑮）

＜調査期間＞

2005年9月15日

＜調査対象面積＞

40.5㎡

＜調査員＞

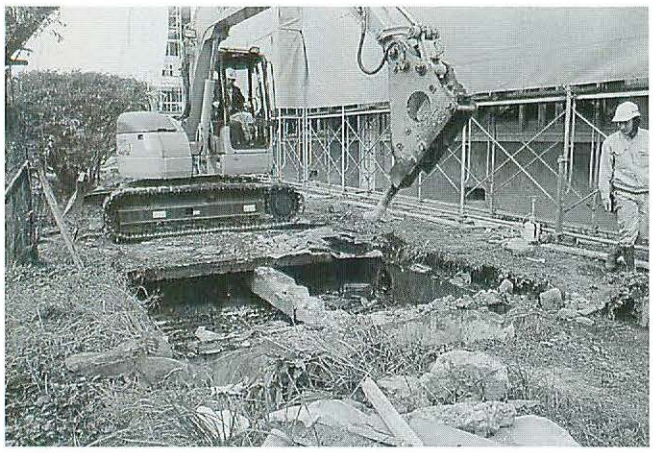
大坪志子.

＜調査概要・結果＞

浄化槽を撤去する工事である．浄化槽の天井部分を壊

し，側壁を地表下30cm程度まで崩して，他はそのまま埋めた．側壁を崩す際は内側から破砕したため，周囲の掘削はほとんどなかった．掘削した部分についても包含層や遺構面には達しなかった．遺物の出土もなかった．

写真33　0513工⑮調査地点破砕作業風景（南東より）



19.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513工②）

＜調査期間＞

2005年９月16日～10月２日

＜調査対象面積＞

97.342㎡

＜調査員＞

檀　佳克．

＜調査概要・結果＞

汚水配管設置に伴う掘削の立会調査である．幅３ｍで深さ2.5ｍまで掘削を行ったが，撹乱が著しく，部分的にしか遺跡は残存していなかったが，包含層および遺構面が遺存している箇所もあり，撹乱の除去を行った後に調査に切替えた．

写真34　0513工②調査地点遺構面検出状況（東より）

遺構面が遺存している箇所では，ピット11基が検出された．ピットは深さや形状から，樹痕の可能性が高いと思われる．包含層は５cmほどしか残存していなかったが，土師器・須恵器小片の出土がみられた．

20.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2，3に伴う立会調査（0513工③）

＜調査期間＞

2005年10月11日～11月７日

＜調査対象面積＞

150㎡

＜調査員＞

大坪志子．

小細工洋子・早田咲百合・前田和子・松井昭子・森川征子・森川護・森田登．

＜調査概要・結果＞

0513工②の続きである．東西調査区には旧校舎の基礎があり，既に破壊された部分が多く，遺構の遺存状態は良くなかった．撹乱を受けた部分の壁面に住居の床と思われる硬化した層が確認できたのと，調査区角に住居の一部が20cm四方程度が残されていた．また，幅4.8ｍ，深さ0.8ｍの溝が一条南北方向に調査区を横断していた他はピットが数個あるのみで，その他の遺構は確認されなかった．大溝は，狭く深い溝を，再度浅く広く掘り直した形状であった．西側は下の溝の方が明瞭だが，東側はその境目が明瞭ではなかった．遺物は土師器や須恵器の破片が少量出土したのみである．

南北ルート部分は全て撹乱を受けており，包含層や遺構面は確認されなかった．

0513工①調査地点の北東隅に位置する東西ルート部分では，包含層及び遺構面が遺存していた．しかし検出された遺構はピットのみである．それぞれの包含層・遺構から土師器片・須恵器片が出土した．

写真35　0513工③調査地点調査区完掘状況（東より）

写真36　0513工③調査地点調査区完掘状況（北西より）

写真37　0513工③調査地点掘削状況（南より）

写真38　0526調査地点調査風景（北より）

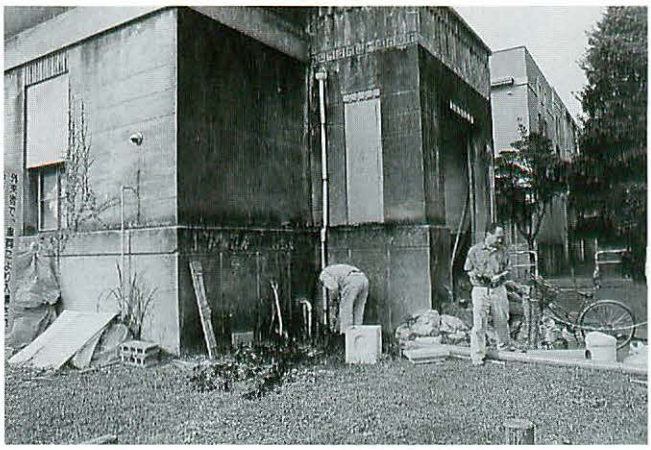
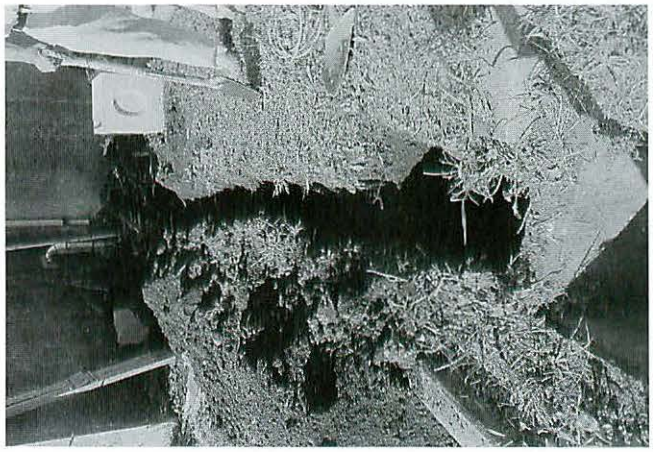


写真39　0526調査地点掘削状況（北より）



21. 埋文調査室内部改修機械設備工事に伴う立会調査（0526）

＜調査期間＞

2005年10月14日

＜調査対象面積＞

2.0㎡

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

埋蔵文化財調査室がおかれている建物入内にある，流し台の排水管改修工事である.

建物（流し台）外側に小型桝を一つ新設し，既存の配水管を接続し，そこからさらに排水管を既設の外の雨水桝に繋ぐ工事である．幅0.2m，深さ0.15～0.4mを掘削した．掘削はいずれも埋土内あるいは掘り方内であり，包含層や遺構面に達することはなかった．遺物の検出もなかった.

22.（黒髪南）工学部ものづくり実習室新営工事に伴う立会調査（0528）

＜調査期間＞

2005年10月21日　建物本体部分

2005年11月７日　電気・設備配管

＜調査対象面積＞

810㎡

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

建物本体については，基礎部分を現地表下0.6mまで，東西と南北方向にＬ字に掘削した．電気等設備部分は工学部研究棟から接続，幅0.6，深さ0.7～1.0mで掘削した．周辺は既往の調査（9704・9603調査地点）や五高時代の記録により，地表下２ｍまでは近現代埋土であることが判明している．本調査地点でも今回の掘削では包含層や遺構面に達することは無かった．遺物の出土もない.

写真40　0528調査地点建物基礎部分掘削状況（東より）

写真41　0528調査地点設備配管部掘削状況（北より）

写真42　0531調査地点作業風景（南より）

写真43　0531調査地点土層状況（西より）

23. 旧情報処理センター屋外階段取設工事に伴う立会調査（0531）

＜調査期間＞

2005年11月４日

＜調査対象面積＞

９㎡

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

産学官連携研究推進機構（旧情報処理センター）がおかれている建物南側の外壁に階段を設置する工事である.

階段基礎部分の掘削について立会調査を行った．掘削予定範囲の東側をトレンチを入れる形で現地表より1.0ｍの深さまで掘削した．埋土内で包含層・遺構面には達しなかった.

周辺の駐輪場や道路面よりは約１ｍ程度高い位置にある．周辺ではこの道路面からさらに１ｍ程度掘削すると，包含層が検出される．恐らく，階段設置部分は，建物を建築する際に盛り土をしたと考えられる.

24. 黒髪南地区囲障改修工事に伴う立会調査（0534）

＜調査期間＞

2005年11月16日・21日

＜調査対象面積＞

124.3㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

工事対象地区は削平が著しく，さらに石垣築造のために改変を受けている．立会調査を実施したが，遺構・遺物ともに検出できなかった.

25. （黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－２に伴う立会調査（0513工⑯）

＜調査期間＞

2005年11月29日・12月15日

＜調査対象面積＞

48㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

配管部分は既存の配管掘削のため，調査区に併行するように部分的に撹乱を受けており，狭い幅で遺物包含層と遺構面が残存している状態であった.

調査の結果，調査区にわずかにかかる状態で竈付の竪穴住居址１基，柱穴４個を検出した.

遺物は包含層から少量の土師器・須恵器を検出したにすぎない.

写真44　0513工⑯調査地点第１号住居址（南より）

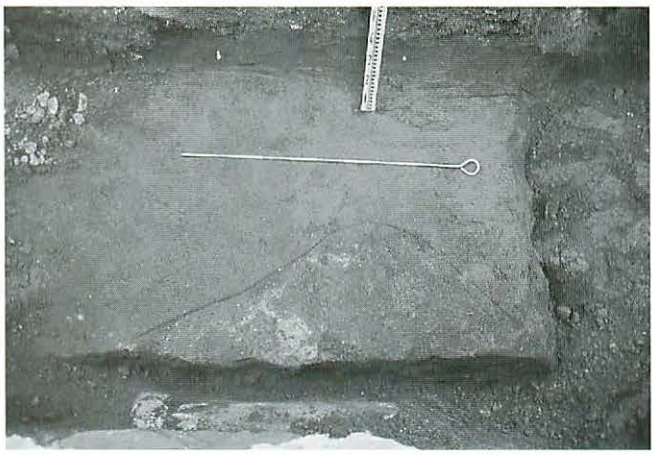
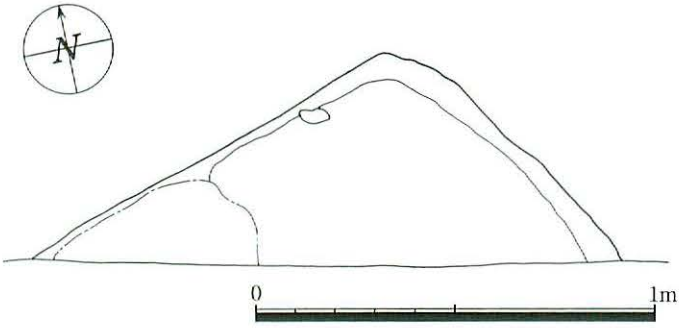


写真45　0513工⑯調査地点第１号住居址竈断面（南より）

図５　0513工⑯調査地点住居址実測図（１／20）



26.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－２に伴う発掘調査（0513理⑥）

＜調査期間＞

2005年11月29日～12月15日

＜調査対象面積＞

24㎡

＜調査員＞

大坪志子・檀　佳克.

今村明美・河野義勝・早田咲百合・松井昭子・森川征子・森川登・　田上次敏・田上利子.

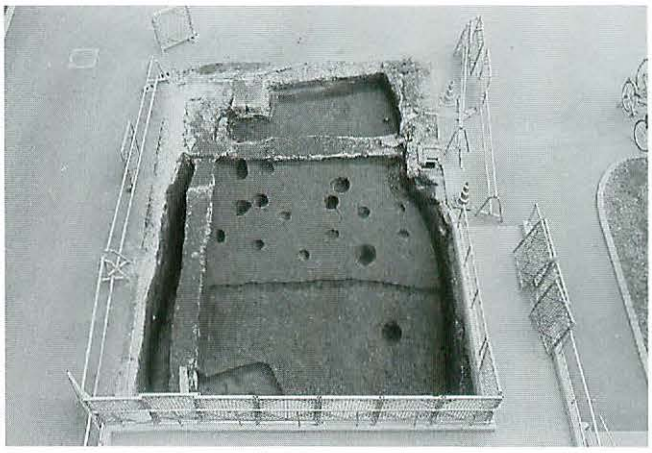
＜調査概要・結果＞

検水槽設置予定地の調査である．調査区には北端と東端にガス管が敷設されていたが，その他の大きな撹乱はなかった.

調査区西側に，住居址と思われる浅い掘りこみがあったが，その切り合いは把握できなかった．最低３軒の住居址があったと思われる．これら住居址の床面を下げると，溝状の遺構とピットが検出された.

遺物は土師器片・須恵器片が出土した.

写真46　0513理⑥調査区全景（西より）



27.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－２に伴う立会調査（0513工⑰）

＜調査期間＞

2005年12月４日

＜調査対象面積＞

117.4㎡

＜調査員＞

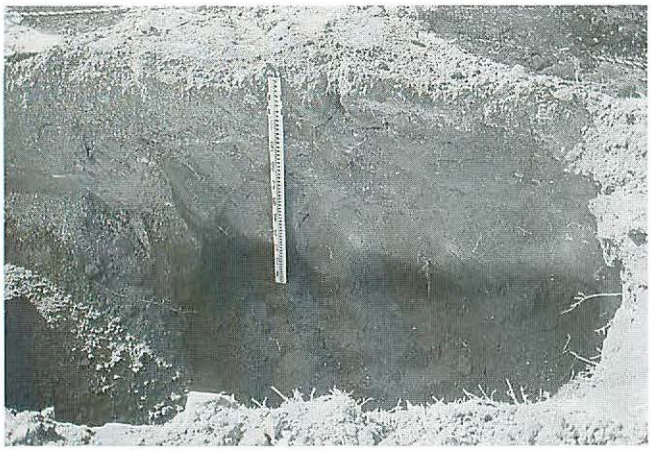
小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

外灯設置のための工事であり，基礎部分の掘削深度は110cmであった．地表下90cmで一帯の遺物包含層相当層である黒褐色土層が現れ，土師器片１個を検出したが，

それ以外の遺物や遺構は検出していない．その他の配線部分は掘削深度がこの黒褐色土に達しないため工事に支障はないものと判断した．

写真47　0513工⑰外灯基礎部分土層（東より）



28.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513工⑱）

＜調査期間＞

2005年12月7日

＜調査対象面積＞

87㎡

＜調査員＞

大坪志子．

＜調査概要・結果＞

工学部研究棟の西側に設置する外灯とその配線工事である．外灯基礎部分の掘削が深くなるため，外灯基礎部分を調査した．

南側1トレンチ（1.7×1.7）では，トレンチの北端に五校時代のものと思われるレンガ作りの建物基礎が検出された．ここでは0.9m下から包含層が検出され1.14mで地山に達した．遺物は土師器片が数点出土したのみ，

写真48　0513工⑱2トレンチ・ピット検出状況（北より）

写真49　0513工⑱2トレンチ作業風景（北より）

遺構は検出されなかった．

2トレンチでは1.1mで包含層に達し，1.36～1.4mで地山に達した．遺物は土師器片が数点出土したのみ，遺構は検出されなかった．

検出した遺構はピットが2つである．遺物は土師器・須恵器の破片が数点出土した．配線部分はこれより浅く，包含層・遺構面には影響ないと判断した．

29.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513工⑲）

＜調査期間＞

2005年12月9日

＜調査対象面積＞

25㎡

＜調査員＞

大坪志子．

＜調査概要・結果＞

工学部2号館東側周辺の外灯設置とその配管工事である．外灯基礎部分の掘削が深いため，外灯礎部分を調査した．

写真50　0513工⑲作業風景（北より）

写真51　0513工⑲1トレンチ掘削状況（南より）

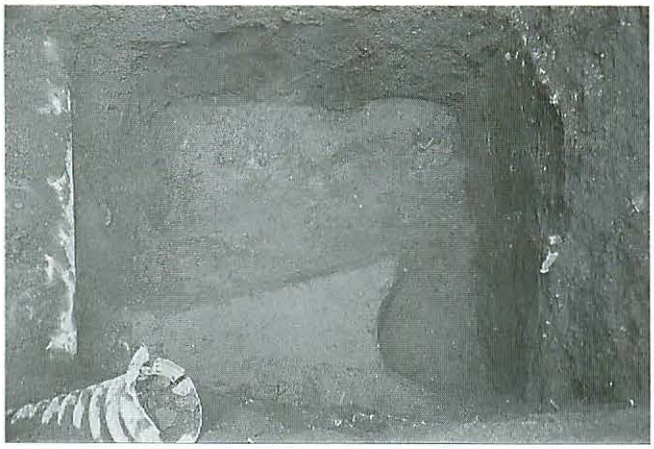
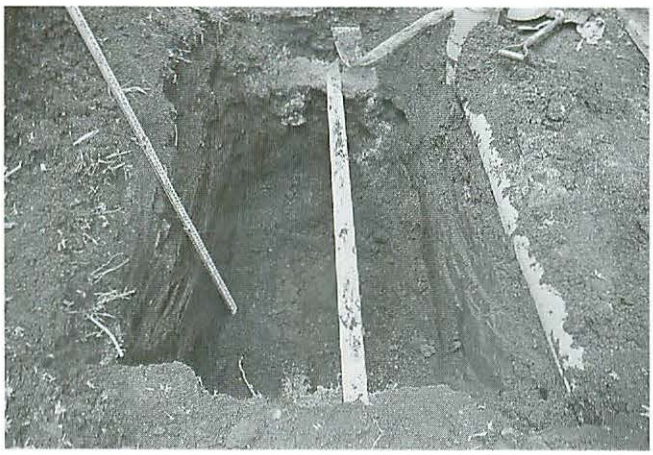


写真52　0513工⑲2トレンチ掘削状況（北より）



1トレンチでは0.9m掘削したところで包含層が検出され，1.3～1.4mで地山に達した．樹根のような窪みと溝状の窪みが検出された．遺物は土師器片・須恵器片である．2トレンチでは0.9mで包含層に達した．慎重に1.3mまで掘削した．工事はこの範囲内であったので遺構面に達することはなかった．遺物の出土はない．3トレンチは1.4mほど掘削したが埋土内で包含層・遺構面は検出されなかった．配線部分は大略0.6～0.7m程度の深さで，包含層・遺構面には影響ないと判断した．

30.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2，5に伴う立会調査（0513工⑳）

＜調査期間＞

2005年12月12日

＜調査対象面積＞

30㎡

＜調査員＞

小畑弘己．

＜調査概要・結果＞

掘削深度が120～140cmである．配管設置部のうち2箇所で土層を確認したところ，地表下100cmで近世～近代の畑土壌である暗茶褐色土が出現し，地表下130cmで古代遺物包含層に相当する黒褐色土層が現れた．調査区内においては，遺物・遺構ともに検出していない．

写真53　0513工⑳調査区全景（東より）

写真54　0513工⑳掘削部土層（南より）

31.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1に伴う立会調査（0513工㉑）

＜調査期間＞

2005年12月13日

＜調査対象面積＞

0.5㎡

＜調査員＞

小畑弘己．

＜調査概要・結果＞

工学部資料館へガス管をつなぐ工事である．掘削深度（80cm）では現代の埋め土内であり，遺構・遺物ともに検出していない．

写真55　0513工㉑調査地点全景（北西より）

32.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513工㉒）

＜調査期間＞

2005年12月13日

＜調査対象面積＞

3㎡

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

工学部資料館から，北側にある共同溝へ電気配線する工事である.

共同溝から工学部資料館までの間2.8mには，水道管等が多数埋設されていた．周辺の既往の調査では地表下0.8mで包含層が，1mで遺構面が検出されている．今回の調査地点は，盛土のため周辺より高くなっていることと，既設の工事等のため埋土内であった．共同溝接続部分は掘り方内で1.0m掘削した．包含層・遺構面の検出はなく，遺物の出土もなかった.

写真56　0513工㉒調査地点掘削状況（南より）

33.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1に伴う立会調査（0513工㉓）

＜調査期間＞

2005年12月13日

＜調査対象面積＞

87.5㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

工事の主体は建物周辺のすでに伐採した樹木の抜き取り工事であり，掘削深度は深くても50cmである．掘削部の土層を観察したところ，すべて表土内であり，工事に支障はないものと判断し，慎重に工事を進めるように指導した.

写真57　0513工㉓調査地点掘削風景（西より）

34.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513工㉔）

＜調査期間＞

2005年12月13日

＜調査対象面積＞

18㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

掘削部分は，工学部1号館の基礎掘り方内にあたり，すでに破壊されている部分であった．掘削深度80cmでは遺構・遺物ともに検出していない.

35.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－7に伴う立会調査（0513工㉕）

＜調査期間＞

2005年1月17日

＜調査対象面積＞

1㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

既存の防火用送水管を設置するため，既存のガス管の掘り方を掘り下げる手法で工事が行われた．よって，掘削部は埋め土内であり，遺構・遺物ともに検出していない.

写真58　0513工㉕調査地点調査風景（東より）

36.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－7に伴う立会調査（0513工㉖）

＜調査期間＞

2006年1月20日

＜調査対象面積＞

708㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

工事は建物周辺の舗装や芝貼りが目的であり，高まりを除去するために，地表下15～20cmほど表土内を削るものであった．このため，遺構・遺物などは検出していない.

37.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513理⑦）

＜調査期間＞

2005年12月14日

＜調査対象面積＞

86.6㎡

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

理学部2号館南側の東半分に配管する工事である.

2号館中央の階段から校舎建物に沿って掘削を行った．その結果，校舎壁面から2.8mの範囲が校舎建設時の掘り方であることが判明した．南側に突出した階段部分では，撹乱のためか包含層・遺構面の検出はなかった．工事業者と協議し，今回の工事は掘り方の範囲内で行うこととした.

写真59　0513理⑦調査地点掘削状況（西より）

38.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1，2に伴う立会調査（0513理⑧）

＜調査期間＞

2005年12月15日

＜調査対象面積＞

286.5㎡

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

理学部2号館西側にスロープを設置する工事，及び0513理⑦続き西半分に相当する工事である.

スロープ部分については工期との関係上埋蔵文化財の調査を行わない方針について業者側から相談があった．そこで，包含層の深さを確認し，それから0.3mの盛土で包含層を保護する設計での工事を提案した．スロープ設置予定地を試掘すると現地表面から0.85mの深さで包含層が確認された．そこで，現場作業員には残り部分については0.3m高く設定した掘削を指示し，工事責任者にも，改めて設計の変更と慎重な工事を依頼した.

南側配管部分につては，0513理⑦と同様であることを想定し，建物より2.8m以上はなれる階段周辺部を中心に調査した．その結果，大半は配管等の撹乱を受け包含層・遺構面は遺存していなかったが，1m四方遺存して

写真60　0513理⑧調査地点スロープ部掘削状況（東より）

写真61　0513理⑧調査地点中央階西側掘削状況（北より）

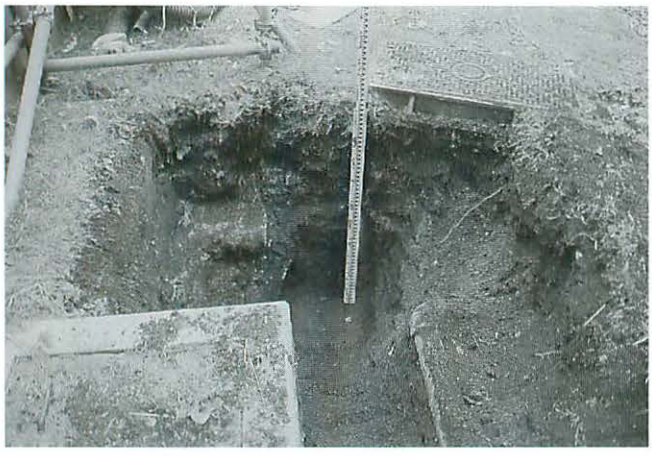


写真62　0537調査地点設備配管部（東より）

写真63　0537調査地点プレハブ基礎部（北より）

いる部分があった．包含層を下げ遺構面を確認したが，遺構は検出されなかった．

39. 理学部プレハブ倉庫新営工事に伴う立会調査（0537）

＜調査期間＞

2005年12月16日・27日

＜調査対象面積＞

167㎡

＜調査員＞

大坪志子．

＜調査概要・結果＞

プレハブ倉庫の基礎及び電気設備について立会調査を行った．

まず，建物基礎部分について掘削をおこなったが，掘削予定の深さより浅いところで包含層・遺構面が検出された．そこで，設計を少し修正して高くし，包含層に影響がないようにした．基礎部分の掘削のみ行い，土間部分についてはすき取りと均し程度に留めた．

配線は，理学部4号から道路を横断して繋ぐ工事である．道路部分では，アスファルトと砕石を撤去すると直ぐに包含層が検出された．0.5mの深さである．包含層を慎重に下げ，遺構面を検出した．ピット一つと樹根と思われる窪みが幾つか確認された．遺物は，土師器の砕片が数点出土したのみである．

40. （黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513理⑨）

＜調査期間＞

2005年12月26日

＜調査対象面積＞

10㎡

＜調査員＞

大坪志子．

＜調査概要・結果＞

0513理⑦・0513理⑧調査地点の間に挟まれた，階段の前面部である．

当初は階段部分について掘り方があるか不明であった

写真64　0513理⑨調査地点掘削状況（東から）

ため，この部分についても立会を行った．結果は，階段の形状にそって掘り方があったようで，包含層・遺構面は検出されなかった．

41.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う発掘調査（0513理⑩）

＜調査期間＞

2005年1月4日～19日

＜調査対象面積＞

89㎡

＜調査員＞

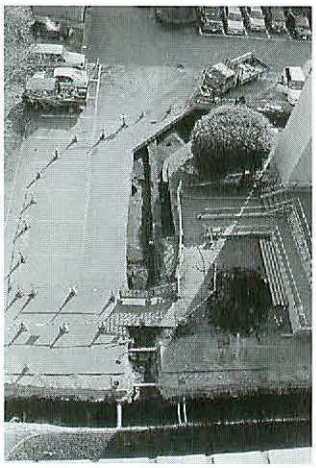
大坪志子・檀　佳克．

岡田イツ代・押方富江・小細工洋子・児玉洋平・溜渕俊子・林　貴暢・林田恵子・早田咲百合・堀川貞子・前田日出男．

＜調査概要・結果＞

設備配管する工事である．西側は2号館の建設時掘り方内に納めることが出来たが，当該調査区地は校舎から離れるため，包含層・遺構の検出が予想された．一次掘削の結果，0.5～0.6mで包含層が確認出来たため，発掘調査に切り替えた．住居址が5軒，大溝1条，ピットなどが検出された．遺構が重複し狭い範囲での検出であったため，全容が把握できるものは少なかった．住居址は竈を持つものが2基あり，古代の住居である．大溝は幅4.1m，深さ約1mあり9810調査地点に繋がる近世～近代の溝と思われる．溝内から陶磁器等が出土したが，その他の遺物はほとんど出土しなかった．

写真65　0513理⑩調査区全景（北より）



42.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513理⑪）

＜調査期間＞

2005年1月5日

＜調査対象面積＞

70㎡

＜調査員＞

大坪志子．

＜調査概要・結果＞

工学部2号館北側（中庭側）西半分に沿った配管工事部分である．南側と同じく壁面より約3mまでが2号館建設時の掘り方である．工事はこの範囲内で配管することとした．

43.（黒髪南）理学部駐輪場整備工事に（追加，再追加を含む）伴う立会調査（0541）

＜調査期間＞

2006年1月26日・2月2日・10日・27日

＜調査対象面積＞

70㎡

＜調査員＞

大坪志子．

＜調査概要・結果＞

新設する上屋の基礎部分，及び排水のための新設桝，外灯設置およびその配線工事について立会調調査を実施した．

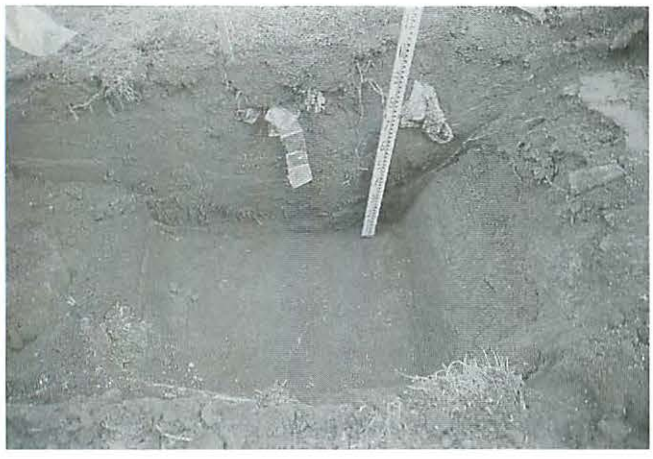
新設する上屋の基礎部分を0.5×0.5m，深さ0.35mで18箇所掘削した．アスファルト及び砕石を撤去すると直ぐに包含層であり，包含層を0.1～0.15m掘削した．遺構面には達しなかった．遺物は，土師器や須恵器が出土した．

桝設置部分においては1トレンチでは0.85mまで掘削した．0.63mの深さで包含層を確認したため，包含層を慎重に下げた．遺構面には達しなかった．遺物は土師器片が数点出土した．2トレンチでは0.5～0.6mの深さで

写真66　0541調査地点上屋基礎掘削全景（東より）

写真67　0541調査地点基礎部分掘削状況（西より）

写真68　0541調査地点２トレンチ掘削状況（北より）



包含層を確認した．0.9mまで掘削したが遺構面には達しなった．遺物は土師器片が数点出土した．3トレンチでは1.24m掘削した．0.7mで包含層を確認したが，土層の状況から包含層は削平されたようで，本来もっと厚いと思われる．1.1mで遺構面に達し精査したが，遺構は検出されなかった．

写真69　0541調査地点電気配線部掘削状況（南より）

外灯①基礎部分は0.8m掘削した．埋土内でガラ等が入っていた．外灯②基礎部分は0.8～0.9m掘削した．埋土内で遺構・遺物の出土はなかった．外灯③基礎部分でも0.9m程度掘削したが埋土内で遺物の出土も無かった．外灯④部分では1.05m程度掘削した．ここでは0.65mの深さで包含層を検出した．1.0mの深さは遺構面直上の深さである．工事業者には慎重に工事するよう指導した．

外灯①②③への配線は，理学部１号館から配線した．建物際は建物建設時の掘り方内であるが，道路部分では，駐輪場上屋と同じくアスファルト・砕石下は包含層である．この部分については遺構面まで調査したが遺構は検出されなかった．道路以外の部分では掘削を可能な限り浅くし包含層・遺構面に影響のないようにした．自然科学研究科・理学部研究棟東側では，道路横断部において僅かに包含層・遺構面の遺存があった．0.6×0.5mの範囲で，他は既に撹乱で破壊されていた．包含層を0.6mの深さまで掘削したが遺構面には達しなかった．遺物の出土もなかった．道路より東側では表土以下0.3～0.35m程度で遺構面と思われる黄色の土となる．工事予定箇所では，遺構の検出はなかった．

44.（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－７に伴う立会調査（0513工㉗）

＜調査期間＞

2006年１月23日

＜調査対象面積＞

45.4㎡

＜調査員＞

小畑弘己．

＜調査概要・結果＞

工事は既存の埋設管および建物の壁に沿って80cmほど掘削するもので，範囲内において，遺構・遺物ともに検出していない．

45．（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－2に伴う立会調査（0513工㉘）

＜調査期間＞

2006年1月24日

＜調査対象面積＞

12㎡

＜調査員＞

小畑弘己．

＜調査概要・結果＞

幅1mほどの配管設置用のトレンチを開けたところ，地表下70cmほどで一帯の遺物包含層相当層である黒褐色土層を検出．掘削にあわせ，これらを掘り進めたところ，地表下105cmで黄褐色の地山層に達した．遺構・遺物ともに検出していない．

46．（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－1に伴う立会調査（0513工㉙）

＜調査期間＞

2006年1月26日

＜調査対象面積＞

40㎡

＜調査員＞

小畑弘己．

＜調査概要・結果＞

移植樹木用の穴2箇所および，表土のすき取りに伴う工事立会いである．樹木穴は80cmほど掘り下げたが，遺構・遺物ともに検出していない．また，表土すき取りは25cmほどであり，地表内に収まるものであった．

写真70　0513工㉙調査地点調査風景（南東より）

写真71　0513工㉙調査地点樹木用掘削部全景（南東より）

47．（黒髪南）工学部他校舎改修施設整備等事業－3に伴う立会調査（0513工㉚）

＜調査期間＞

2006年1月30日

＜調査対象面積＞

656.1㎡

＜調査員＞

小畑弘己．

＜調査概要・結果＞

建物周辺の舗装に伴う工事である．表土すき取りの深さは30cmであり，表土内に収まり，遺構・遺物ともに検出していない．

Ⅱ―3　黒髪東地区　（図2参照）

1．教育学部附属養護学校給水引き込み漏水補修工事に伴う立会調査（0532）

＜調査期間＞

2005年11月7日

＜調査対象面積＞

3.5㎡

＜調査員＞

小畑弘己．

＜調査概要・結果＞

既存配管部分の掘削であり，掘削部分の範囲内においては遺構・遺物ともに検出していない．

本地域は旧谷部に相当し，既往の調査においても地表下1mほど掘削しても旧水田土が現れ，湧水が認められる．以前は陶器用粘土の採掘が行われた場所であるとの情報もある．これまで深い掘削がないため遺構・遺物の残存状況は不明なままである．

Ⅱ—4　本荘北地区　（図6参照）

1．医学部附属病院排水貯留槽ポンプアップ排水管補修に伴う立会調査（0502）

＜調査期間＞

2005年4月27日

＜調査対象面積＞

4㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

掘削部分は既掘削部であり，遺構・遺物ともに検出していない.

2．（医病）基幹・環境整備（設備・曳き家前）（0505）

＜調査期間＞

2005年6月9日～10日・12日

＜調査対象面積＞

55.96㎡

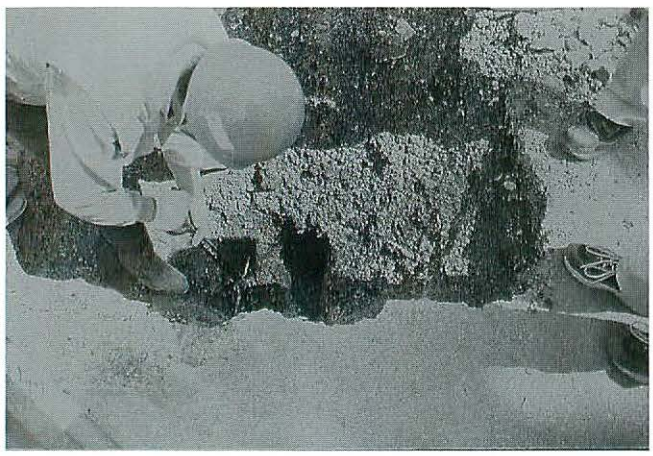
＜調査員＞

小畑弘己・大坪志子.

＜調査概要・結果＞

電気配線部では，幅0.9m，深さ0.8～1.3m掘削した．いずれも埋土内で，包含層・遺構面には達しなかった．遺物の出土もない.

写真72　0502調査地点掘削状況（西より）



3．（医病）基幹・環境整備（曳き家・移動先）に伴う発掘調査（0509）

＜調査期間＞

2005年7月13日～9月30日

＜調査対象面積＞

1147㎡

＜調査員＞

小畑弘己・大坪志子.

今村明美・押方富江・川越キヤウ子・河野義勝・小細工洋子・児玉洋平・白石美智子・田上次敏・田上利子・田部孝子・溜渕俊子・林毅暢・林田恵子・早田咲百合・福田久美子・堀川貞子・前田和子・前田宏一郎・前田日出男・松井昭子・松本和徳・桃井哲夫・森川征子・森川護・森田登.

＜調査概要・結果＞

熊本大学附属病院地区における基幹・環境整備事業に伴い，山崎記念館を移転することとなった．本調査区はその移転先である.

本調査地点の南側には2004年度に調査を実施した0411地点があり，遺構はこの地点から連続している．よってこの調査成果を受け，まず地表下1.8mの土壌を機械によって除去した後，人力に変えて調査を開始した.

この結果，検出した遺構としては近世・近代の墓8基，溝4条，9世紀後半～12世紀の溝1条，9世紀前半の古代

写真73　0509調査地点調査区全景（東から）

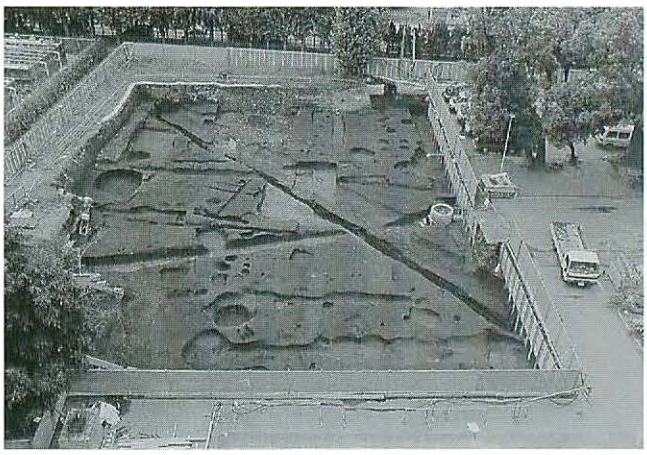
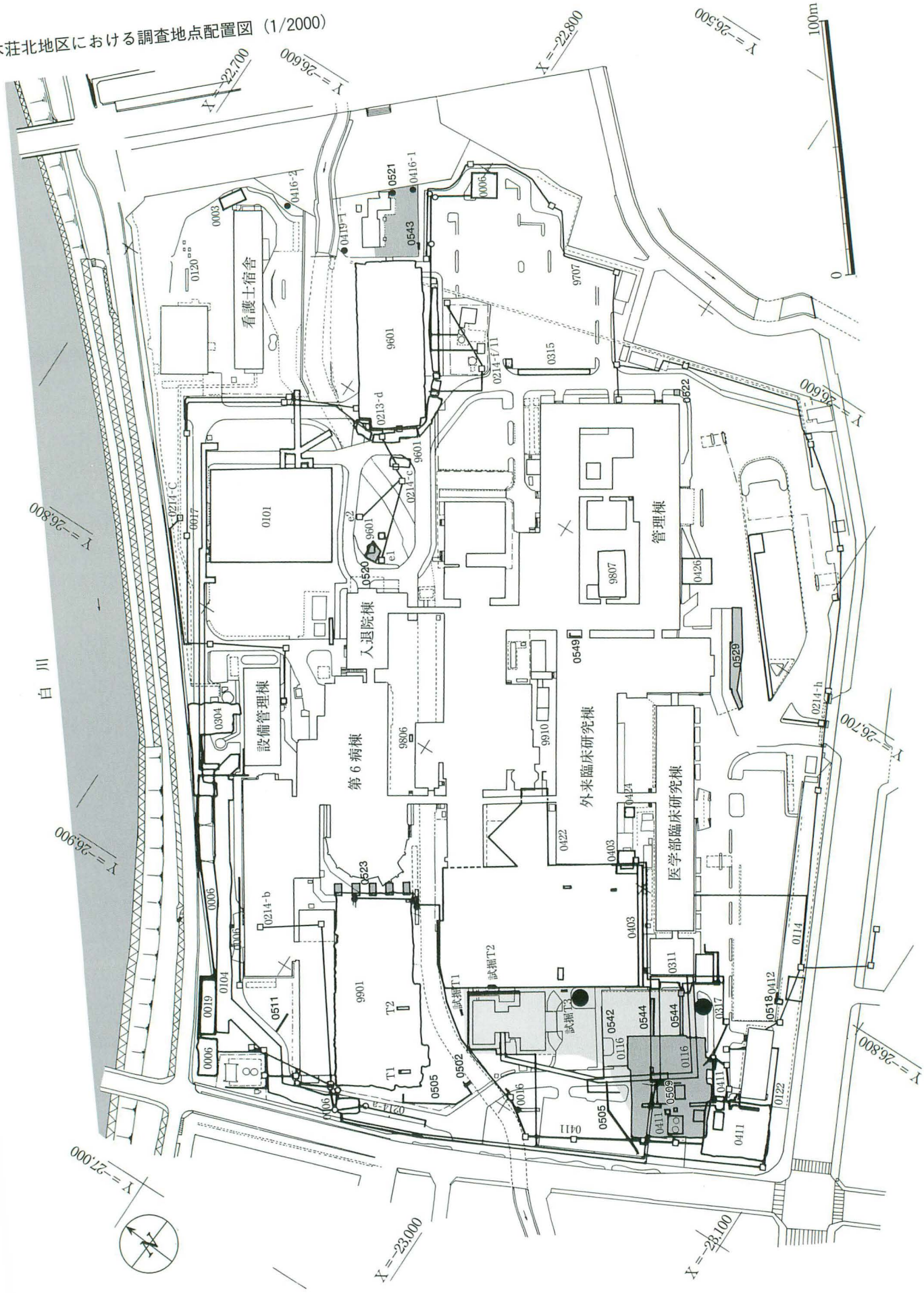


写真74　0509調査地点第97号住居址遺物出土状況（南西より）

図６本荘北地区における調査地点配置図（1/2000）



の鉄鏃・石錘，古墳時代の石錘・管玉，縄文時代の土壙1基，8世紀後半～9世紀前半の溝2条，7世紀後半～8世紀後半の竪穴住居址10基，5世紀後半～6世紀の溝1条，5世紀前半の竪穴住居址7基などを検出した．出土遺物としては，各時期の陶磁器・須恵器・土師器・土器類を主体として大型コンテナ40箱ほどが出土した．特殊な遺物としては中世～近世の銭，近世？刀子，磨製石斧や黒曜石片などがある．

今回の調査によって，本遺跡内において，5世紀前半代を中心とした住居群を検出できたことは，これまで本遺跡で空白であった時期の集落を把握できたという点で大きな成果と考えられる．

写真76　0509調査地点第121号住居址竈（東より）

写真75　0509調査地点第33号溝全景（北より）

写真77　0509調査地点第98号住居址（南より）

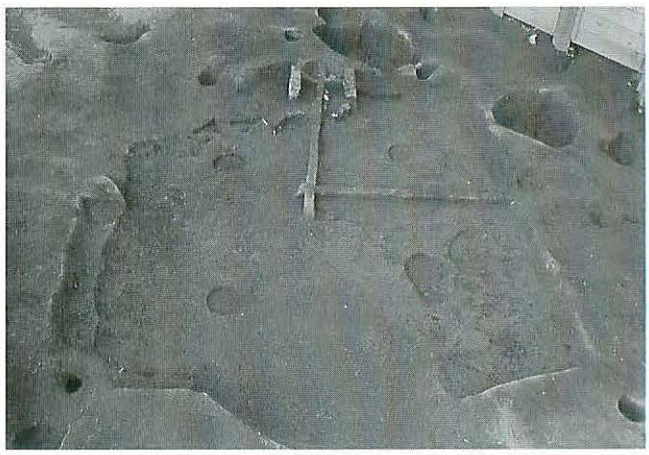
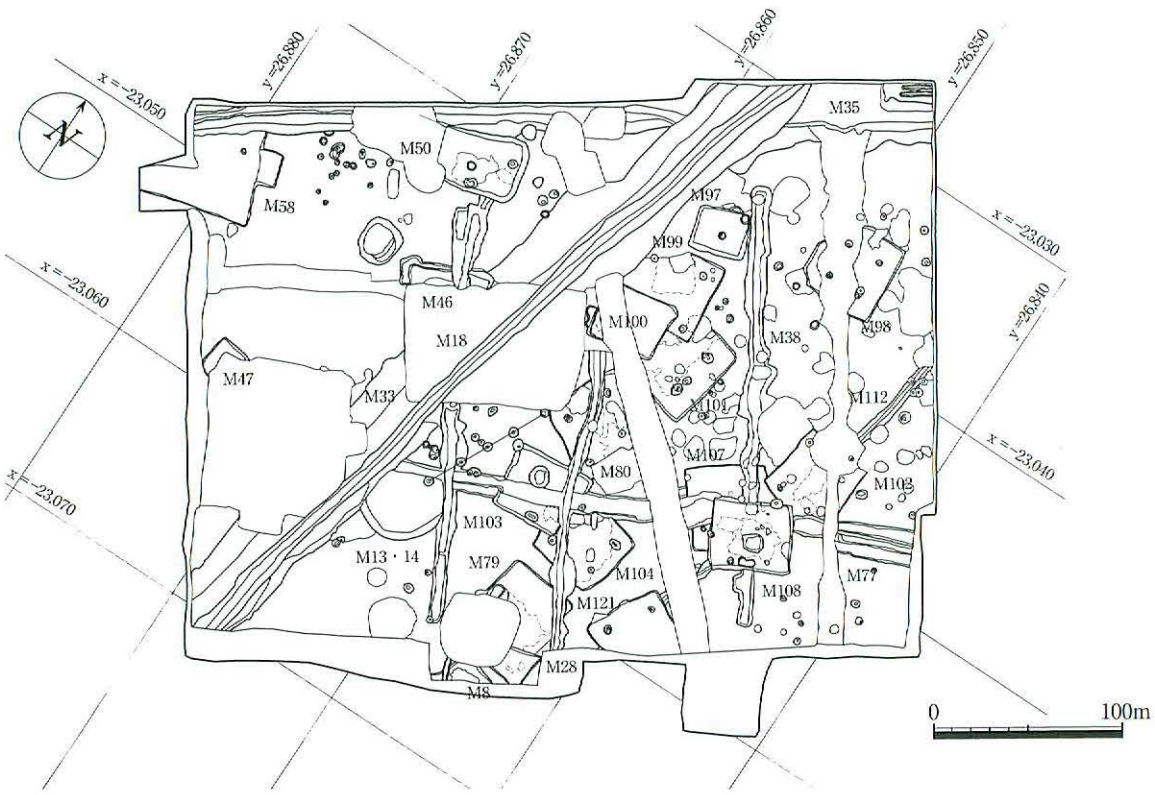


図7　0509調査地点遺構配置実測図（1／400）



4．本荘団地北地区雨水配管補修に伴う立会調査（0511）

＜調査期間＞

2005年７月19日

＜調査対象面積＞

7.6㎡

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

既設桝の間に雨水管を配管する工事である．申請は２箇所であるが，1箇所（申請書類添付図の①部分）について工事を行った．長さ7.6m，幅0.7m，深さ0.5～0.7mを掘削した．西側半分では深さ0.3mで包含層が検出された．この部分については，工事の必要な深さまで慎重に掘削したが，遺構の検出はなかった．遺物は土師器片が数点出土した．他の部分は撹乱で既に破壊されていた．

写真78　0511調査地点掘削状況（東より）

5．（医病）基幹・環境整備（曳き家・現在地）に伴う立会調査（0517）

＜調査期間＞

2005年９月１日・20日・22日

＜調査対象面積＞

1,337㎡

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

山崎記念館を移動させるための，現在地での立会を行った．建物周囲と床下ピットで土層を把握することにした．いずれの場所においても，白川の氾濫原と思われる砂質土層を検出し，この層からは土師器１点が検出されたが，この層自体は古代ではないようである．移動に際しての掘削はこの砂質層までであり，下の包含層や遺構面には影響ないと判断した．

6．附属病院都市ガス設備改修工事に伴う立会調査（0518）

＜調査期間＞

2005年９月13日

＜調査対象面積＞

29㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

掘削部中央部においてコンクリート基礎が検出されたため，それ以外の部分で土層を確認した．地表下90cmほどで暗灰色の固い土層が検出されたが，遺物包含層ではない．その上部はすべて現代の埋め土である．掘削深度内においては遺構・遺物ともに検出していない．このため，工事に支障はないものと判断した．

写真79　0518調査地点掘削部西壁土層（東から）

7．本荘団地北地区入退院棟前スロープ取設工事に伴う立会調査（0520）

＜調査期間＞

2005年９月15日

＜調査対象面積＞

17.18㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

スロープの基礎の掘削深度（51cm）まで掘り下げたが，現代の埋め土内であり，遺構・遺物ともに検出していない．

写真80　0520調査地点全景（南西より）

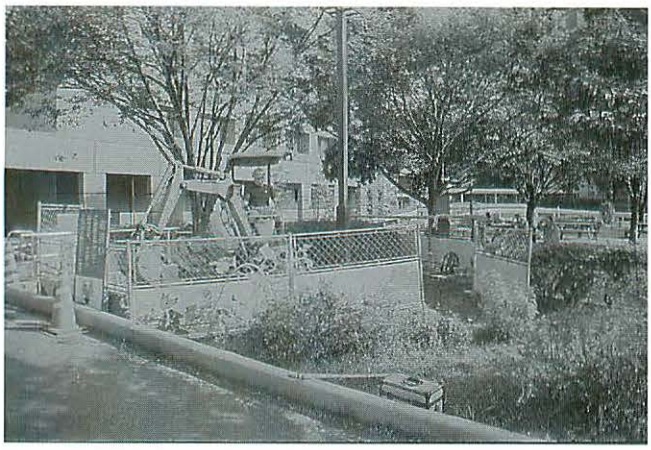


写真81　0520調査地点掘削部土層（南より）

8．本荘団地（北地区）台風倒木引起しに伴う立会調査（0521）

＜調査期間＞

2005年９月15日

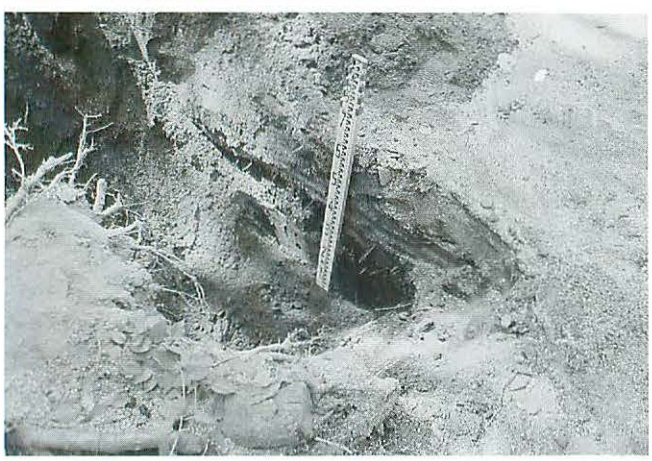
＜調査対象面積＞

2.355㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

写真82　0521調査地点掘削部（北西より）



＜調査概要・結果＞

樹木を引き起こすために，60cmほど掘削するが，深さ45cmで暗茶褐色土を検出する．しかし，遺物・遺構ともに検出できなかった．

9．（医病）管理等棟屋外給水バルブ取替工事に伴う立会調査（0522）

＜調査期間＞

2005年９月16日

＜調査対象面積＞

2.25㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

既存の掘削部分を掘り返す作業であり，掘削埋め土からは何も検出していない．掘削後，壁部分の土層を観察したところ，深さ90～120cmはこの一帯の遺物包含層相当である黒褐色土層であった．その下部についてはそれ以上の掘削を伴わないため不明である．土層壁より土師器小片１点を検出した．

写真83　0522調査地点掘削部土層（北西より）

10．（医病）中央診療棟（仕上げ）工事に伴う立会調査（0523）

＜調査期間＞

2005年９月27日

＜調査対象面積＞

57.6㎡

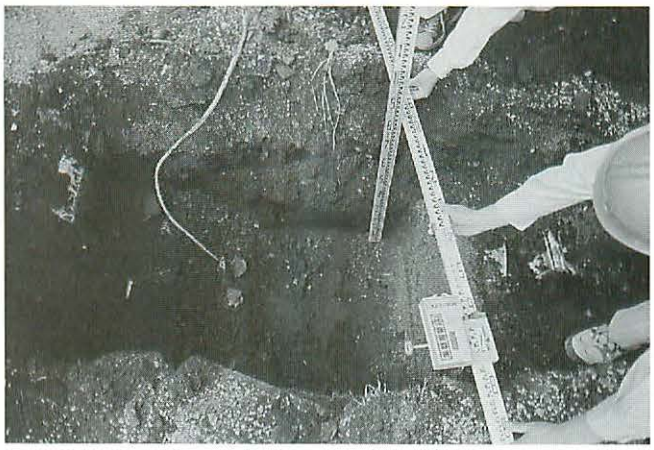
＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

掘削深度（80cm）まで掘り下げたが，掘削内では現代埋め土，近代の畑土（茶褐色土）であり，遺構・遺物ともに検出していない．

写真84　0523調査地点掘削部５土層（北より）



11.（医病）外来臨床研究棟玄関前環境整備に伴う立会調査（0529）

＜調査期間＞

2005年10月25日

＜調査対象面積＞

381.12㎡

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

外来臨床研究棟前の車寄せ部分の整備である．既存の緑地帯を弱冠削平し，スロープを整備する工事である．

緑地帯部分はいずれも埋土（盛土）内である．現道路との接続部分は，アスファルトより0.6m掘削したが，埋土内あるいは砕石内であり包含層や遺構面には達しなかった．遺物の出土もなかった．

また，消火栓については1.2m掘削したが埋土内出の掘削で，包含層や遺構面には達しなかった．遺物の出土もなかった．

写真85　0529調査地点作業風景（南東より）

写真86　0529調査地点東南部掘削状況（東より）

写真87　0529調査地点西南部掘削部（西より）

12.（医病）基幹・環境整備（曳き家・移動経路）に伴う立会調査（0542）

＜調査期間＞

2006年１月27日

＜調査対象面積＞

1,464㎡

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

山崎記念館を移動する際の経路整備である．山崎記念館周辺に敷設されていたインターロッキングやアスファルト，その下の砕石を撤去するほか，すき取りを行い地表を均すものである．

移動経路に相当する範囲のレンガやコンクリートを剥がし，その下の砕石（厚さ0.2m程度）まで撤去した．掘削の深さは0.7m程度である．周辺は既往の調査で1.8～２mの深さで包含層が検出される．今回の掘削では，包含層や遺構面に達しなかった．遺物の出土もない．

写真88　0542調査地点掘削状況（西より）

13. 附属病院職員厚生施設園庭整備に伴う立会調査（0543）

＜調査期間＞

2006年２月13日

＜調査対象面積＞

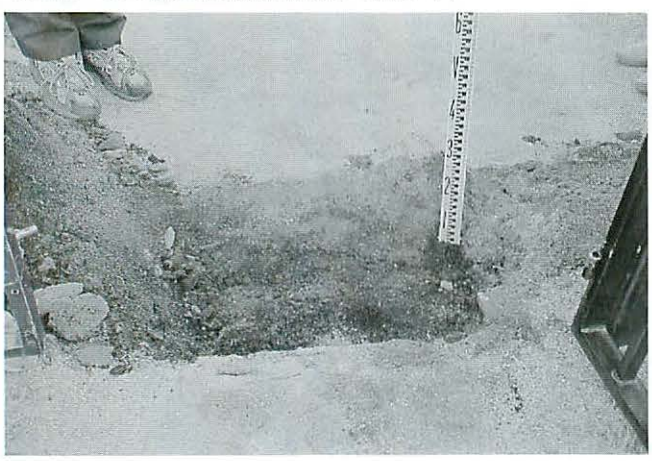
338.9㎡

＜調査員＞

大坪志子.

写真89　0543調査地点作業風景（南西より）

写真90　0543調査地点掘削状況（南より）



＜調査概要・結果＞

附属病院敷地内にあるこばと保育所の門部分について調査した．0.15cm掘削したが，表層５cmは運動場のすなであり，下10cmは埋土である．遺構・遺物の検出はない．運動場の均し工事はこれより浅いため，文化層への影響はないと判断した．

14.（医病）基幹・環境整備（設備・曳き家後）に伴う立会調査（0544）

＜調査期間＞

2006年２月16日・３月13日

＜調査対象面積＞

39㎡

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

移転先の山崎記念館に電気・設備配管する工事である．

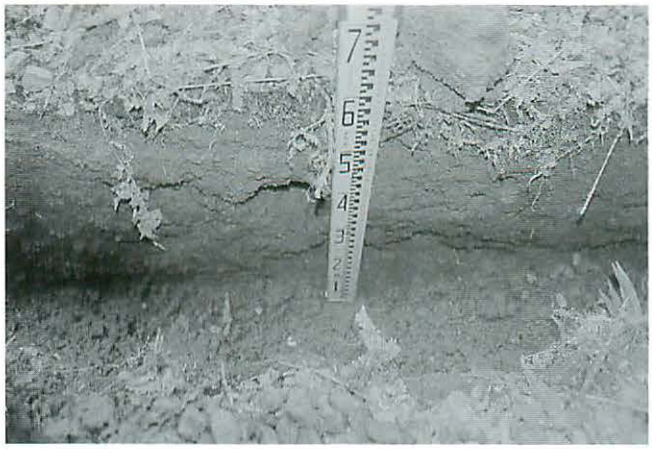
電気配線は東西に幅１m，長さ26m，深さ0.9mで掘削した．包含層・遺構面の検出，遺物の出土はなかった．設備（給水・ガス）は，既設の管が通っている箇所での工事であった．ガス管は既に配管されているものと交換

写真91　0544調査地点作業風景（北東より）

写真92　0544調査地点電気配線部掘削状況（西より）

写真93　0544調査地点設備配管部（南より）

写真95　0549調査地点土層状況（東より）



し，給水は既設管の上に乗せる工法を採ることになった．既設配管の埋設状態を確認し，慎重に施工するよう指導した．

15.（医病）外来化学療法センター屋外汚水配管工事に伴う立会調査（0549）

＜調査期間＞

2006年３月24日

＜調査対象面積＞

1.92㎡

＜調査員＞

大坪志子．

＜調査概要・結果＞

外来診療棟から新設汚水管を接続し，外の既設汚水桝に繋ぐ工事である．幅0.3m，深さ0.6mで５m程掘削した．埋土内で包含層・遺構面には達しなかった．遺物の出土もない．

写真94　0549調査地点掘削状況（北より）

Ⅱ―５　本荘中地区　（図８参照）

1.（本荘）発生医学研究センター施設整備事業（外構）に伴う立会調査（0503）

＜調査期間＞

2005年５月30日
６月４日～５日
６月14日

＜調査対象面積＞

2,337.2㎡

＜調査員＞

小畑弘己．

＜調査概要・結果＞

掘削箇所５箇所をそれぞれの掘削深度に従って掘削，遺構・遺物の有無を確認した．

掘削部１（深度105cm）：深さ100cmで暗褐色の砂・土の互層を確認．その上部は埋め土である．遺構・遺物なし．

掘削部２（深度170cm）：深さ140cmで黒褐色土（遺物包含層相当層）が確認され，深さ170cmで固い黄褐色の地山層を確認した．地山層上部で１点の土師器片を演出した．

掘削部３（深度120cm）：深さ80～120cmはふかふかの暗茶褐色土である．黒褐色土の上部の層に相当する可能性がある．遺構・遺物ともに検出していない．

掘削部４（深度130cm）：砂質の埋め土が続き，深さ130cmで砂と土の互層となる．遺構・遺物ともに確認していない．

掘削部５（深度155cm）：深さ135cmで遺物包含層に相

図８　本荘南地区における調査地点配置図（1/2000）

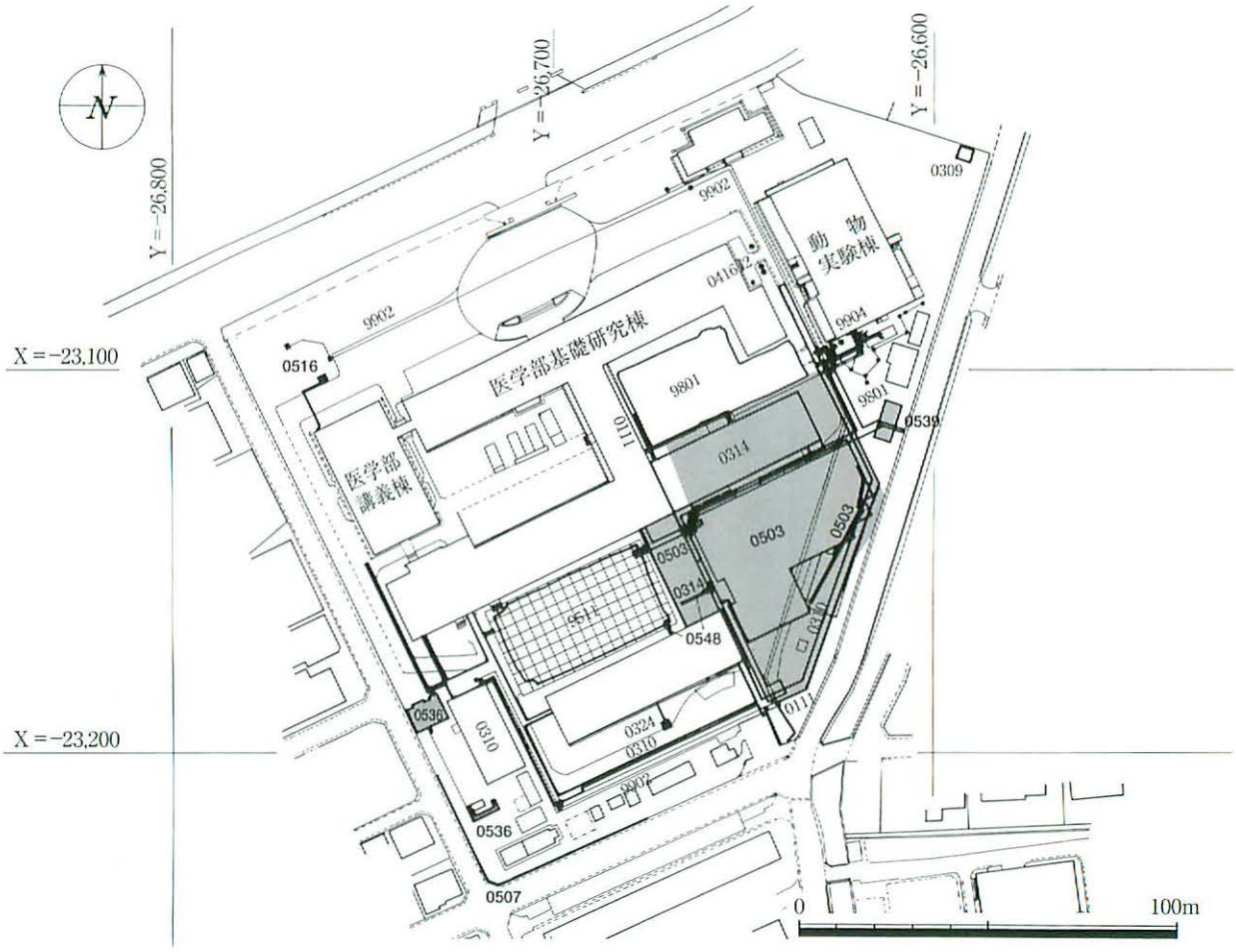


写真96　0503調査地点掘削部２土層（西より）

当する黒褐色土層を確認した．深さ155cmで黄褐色の地山層を検出．しかし，遺構・遺物ともに検出していない．

2.（本荘中）敷地境界ブロック改修工事に伴う立会工事（0507）

＜調査期間＞

2005年６月21日

＜調査対象面積＞

10.5㎡

＜調査員＞

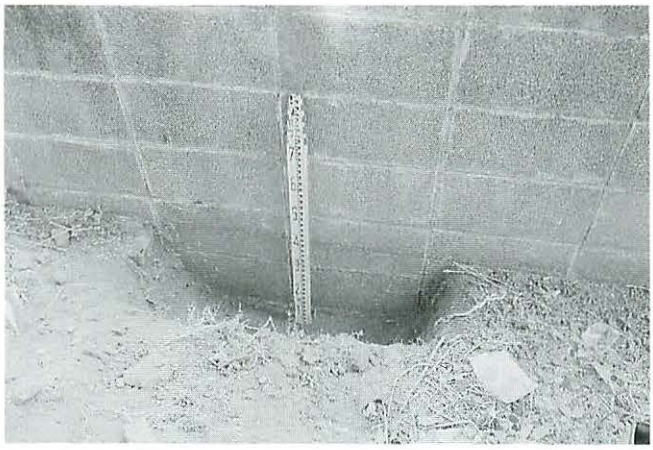
大坪志子．

＜調査概要・結果＞

熊本大学医学部敷地と市道との境界ブロックの改修工事である．現在市道道路面の方が１ｍほど低くなっている．工事では，ブロックの下方数段を残し，上部を改修

写真97　0507調査地点遠景（北より）

写真98　0507調査地点１トレンチ掘削状況（東より）



したため，掘削も敷地内における現地表面から30cm程度の掘削だった．3箇所にトレンチを入れたが，いずれも埋土（盛土）内で，包含層・遺構面に達することはなく，遺物も出土しなかった．

3．本荘団地中地区外灯設備工事に伴う立会調査（0516）

＜調査期間＞

2005年８月24日

＜調査対象面積＞

11.4㎡

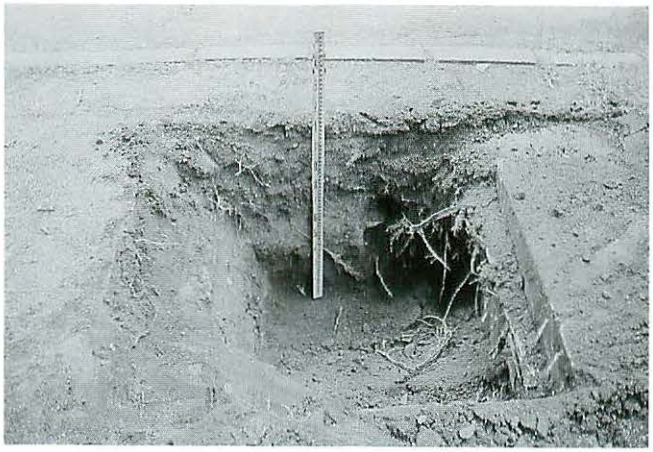
＜調査員＞

小畑弘己．

＜調査概要・結果＞

外灯基礎部分で掘削深度が140cmであり，この部分において土層の確認を行った．地表下90cmで茶褐色土が現れ，140cmで黄褐色の地山とみられる土層が検出された．しかし，この間，遺構・遺物ともに検出していない．他の配線用の掘削部は埋め土内に収まるものと判断した．

写真99　0516調査地点外灯基礎部土層（北より）



4．医学部弓道場設備工事に伴う立会調査（0536）

＜調査期間＞

2005年12月14日

＜調査対象面積＞

82.73㎡

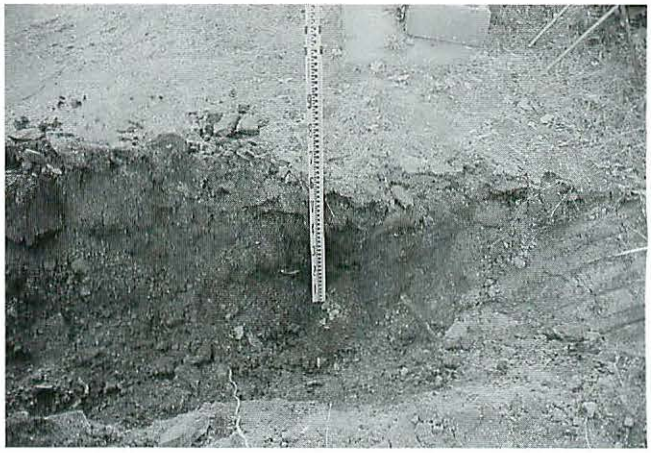
＜調査員＞

小畑弘己．

＜調査概要・結果＞

地表下50cmまで掘削したが，現代の埋め土の範囲内であり，慎重に工事を進めるように指導した．遺構・遺物は検出していない．

写真100　0536調査地点トレンチ土層（北より）



5．本荘団地（中地区）ゴミ置場取設に伴う立会調査（0539）

＜調査期間＞

2005年12月22日

＜調査対象面積＞

48.51㎡

＜調査員＞

写真101　0539調査地点作業風景（北東より）

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

ゴミ置場のコンクリート床面部分の掘削である．現地表面から0.5～0.65m掘削したが，埋土内であり包含層・遺構面の検出はなかった．遺物の出土もなかった．

写真102　0539調査地点掘削状況（北より）

写真103　0539調査地点掘削状況（西より）

6. 本荘団地（中地区）渡り廊下設置に伴う立会調査（0548）

＜調査期間＞

2006年３月13日

＜調査対象面積＞

5.5㎡

＜調査員＞

大坪志子.

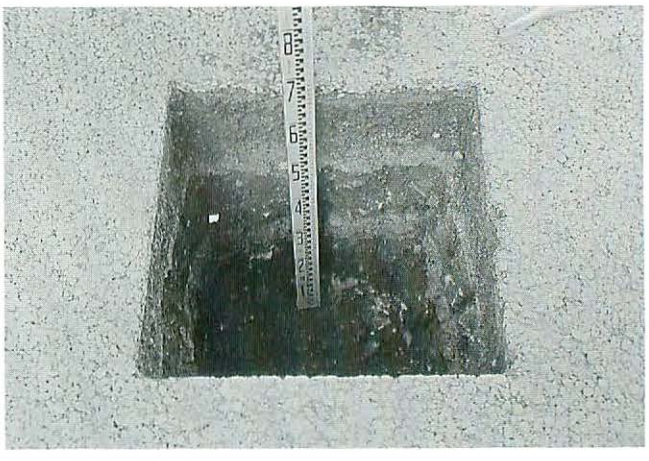
＜調査概要・結果＞

医学部基礎研究棟・発生医学研究センター・生命資源研究・支援センターを繋ぐ渡り廊下を設置する工事である．支柱基礎部分を調査した．

支柱基礎は0.5×0.5m，深さ0.65mで22箇所掘削した．設置場所は2003年に校舎取り壊しとそれに伴う調査を行った跡地である．包含層・遺構面・遺物の出土はない．

写真104　0548調査地点掘削箇所全景（東より）

写真105　0548調査地点掘削状況（南より）



Ⅱ―６ 本荘南地区（九品寺地区）（図９参照）

1．本荘団地南地区駐車場環境整備工事（追加）（0501）

＜調査期間＞

2005年４月19日～20日

＜調査対象面積＞

28㎡

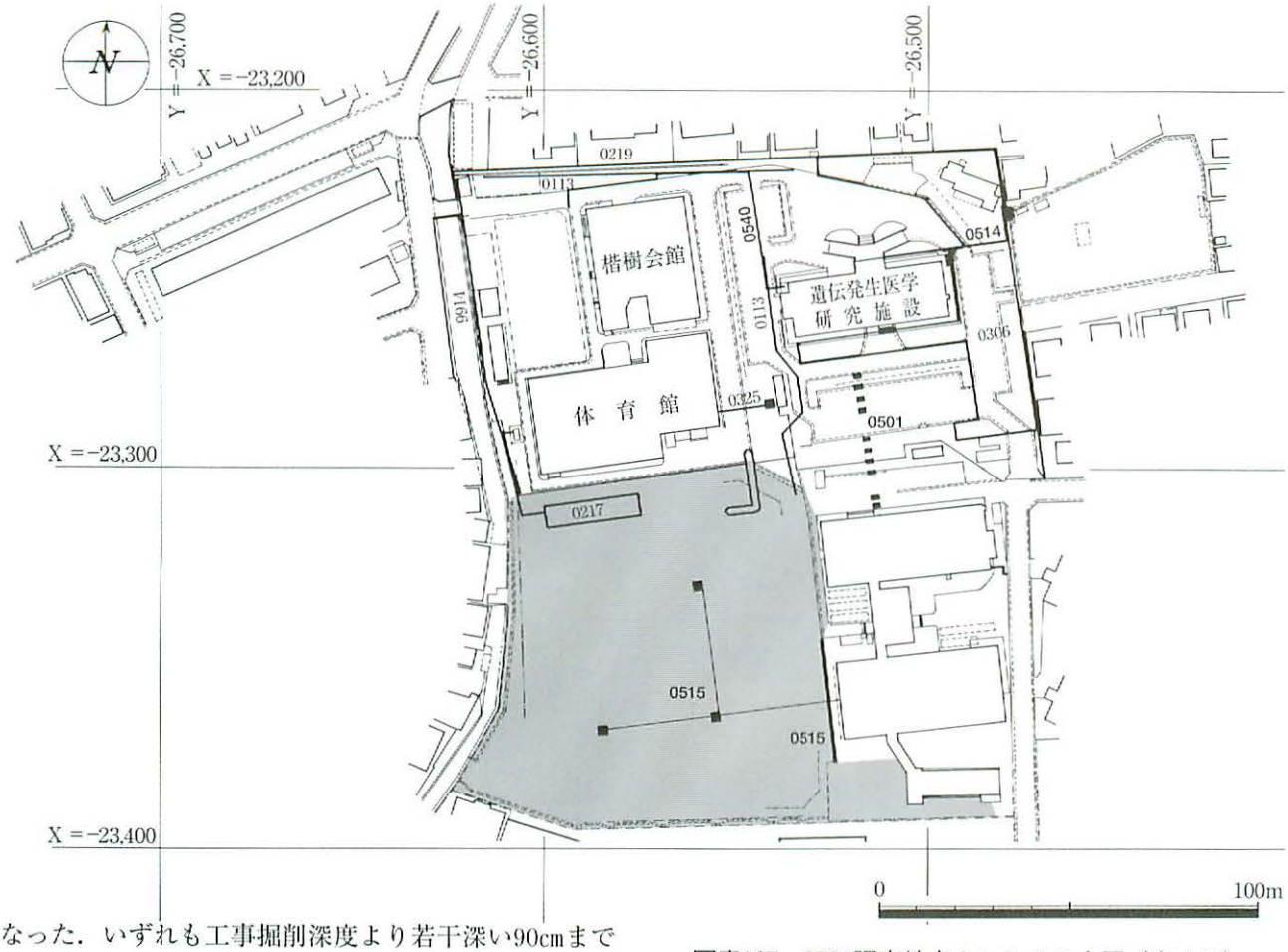
＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

工事区内を横断するようににアルミルーフ用の基礎が９個ほど入ることから，3箇所を選定して80×200cmのトレンチにより，土層の堆積状態や遺構の有無の確認をお

図9　九品寺地区における調査地点配置図（1/2000）



こなった．いずれも工事掘削深度より若干深い90cmまで下げたが，もっとも校舎に近いトレンチDの地表下85cmで遺物包含層を確認した．この上部には固いニガを含む黒褐色土があり，他のトレンチでも地表下80cmのところで検出している．この層には磨耗した土師器・須恵器がごくわずか含まれる．

周辺では本地点の南西側の保健学科校舎西側において古代の含層を確認しているが，本地点の周辺部およびより西側の地点ではまだ明確な遺構は発見されていない．今後の精査が望まれる．

写真106　0501調査地点トレンチA土層（南より）

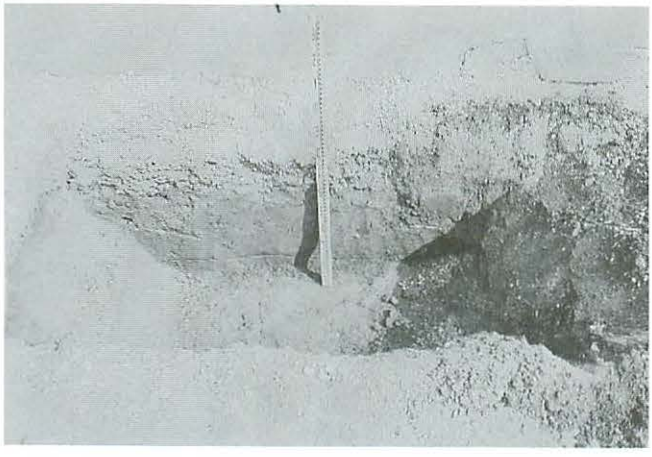
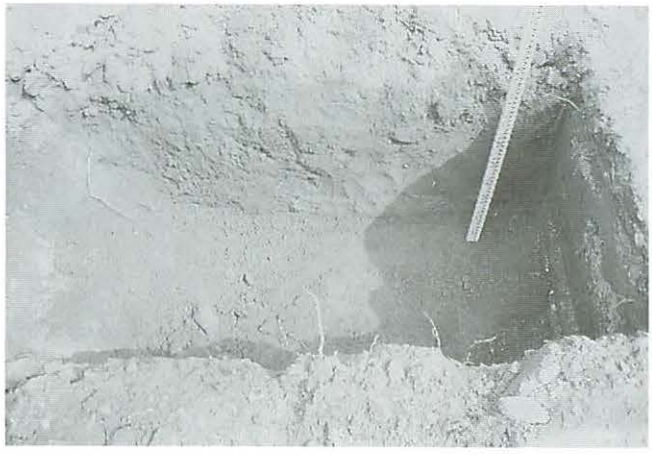


写真107　0501調査地点トレンチD土層（南より）



2．医学部南地区テニスコート内給水設備工事に伴う立会調査（0514）

＜調査期間＞

2005年8月5日

＜調査対象面積＞

19.94㎡

＜調査員＞

檀　佳克．

写真108　0514調査地点掘削完了状況（東より）

＜調査概要・結果＞

本件は給水配管に伴う工事である．西半部分は幅30cm深さ30cm程の掘削であり，また建物による撹乱が及んでいたため，遺跡への影響はないと判断された．東半の深い掘削範囲では，深さ55～60cmで基盤層と思われる黄褐色粘土混砂層（10YR 3／4）を検出した．その上面を精査したが，遺構等は検出されなかったため，必要深度である深さ70cmまで立会のもと下げて掘削を完了した．遺物・遺構は検出されなかった．

3．本荘団地（南地区）駐車場環境整備工事（その2）追加変更に伴う立会調査（0515）

＜調査期間＞

2005年8月18日

＜調査対象面積＞

235.98㎡

＜調査員＞

小畑弘己．

＜調査概要・結果＞

工事の種類は多岐に及ぶため，工事区域内に掘削深度に合わせて，4箇所のトレンチ（120×150cm）を設定して，土層状態と遺構・遺物の有無の確認を行うこととした．

トレンチ1：地表下105cmで黄褐色の地山を確認．遺構・遺物ともになし．

トレンチ2：地表下100～140cmまで砂層であり，遺構・遺物ともになし．

トレンチ3：地表下70cmで黒褐色土の遺物包含層が検出され，地表下100cmで焼土と砂岩ブロック小片が検出された．掘り下げると，地表下135cmで地山に達した．トレンチが狭いため，周辺よりどれほど深いか判断できなかったが，遺物を含む黒褐色土層が厚いこと，焼土と砂岩ブロックが竈の破壊された痕跡の可能性がある点などからみて，このトレンチの設定された部分は竪穴住居の内部に相当する可能性がある．黒褐色土より土師器・須恵器片など10点ほどを検出した．

トレンチ4：地表下50cmまでは撹乱層であり，現代のU字溝の掘削部分に相当する．遺構・遺物ともに発見していない．

トレンチ調査の結果，場所によっては，地表下70cmほどで遺物包含層が露出する可能性があり，工事による掘削がこの深さまで及ばないように指示した．

写真109　0515調査地点作業風景（南より）

写真110　0515調査地点トレンチ3土層（北東より）

4．本荘団地（南地区）埋設ガス管改修工事に伴う立会調査（0540）

＜調査期間＞

2006年1月10日・25日

＜調査対象面積＞

61.8㎡

＜調査員＞

小畑弘己．

＜調査概要・結果＞

2箇所を確認したが，地表下50cm程度の掘削であり，現代の埋め土および既存の掘り方内に収まる．遺構・遺物ともに検出していない．

Ⅱ―7　城東地区

1．教育学部附属幼稚園物置設置に伴う立会調査（0512）

＜調査期間＞

2005年8月1日

＜調査対象面積＞

0.96㎡

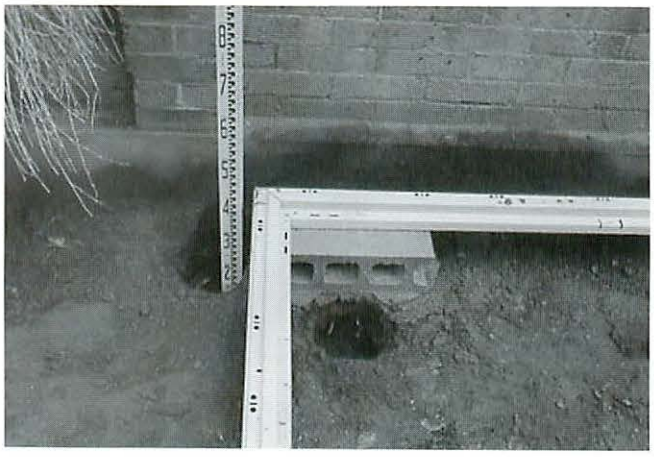
＜調査員＞

檀　佳克．

＜調査概要・結果＞

物置の設置・固定に伴い，申請範囲内に径20cm，4隅に2対ずつ，計8箇所で深さ23～35cmの掘削を行った．南半の4箇所は，敷地境界のブロック塀と，以前建っていた物置の基礎により撹乱を受けていた．北半箇所では，表土の砂層が10～15cmある下に，客土である黄褐色粘土層が10～20cm堆積していた．深さ35cmで，旧表土と思われる，礫・砂混じりの黒色土層を検出した．撹乱内での掘削で，遺物・遺構等は検出されなかった．

写真111　0512調査地点南西部掘削完了状況（北より）



2．教育学部附属幼稚園ブランコ用ゴムマット布設に伴う立会調査（0545）

＜調査期間＞

2006年2月17日

＜調査対象面積＞

12㎡

＜調査員＞

小畑弘己．

＜調査概要・結果＞

工事は地表を10cmほど削るのみであり，掘削部においては黄褐色の基盤土を確認したが，この面では遺構は検出していない．

Ⅱ―8　大江地区（薬学部）（図10参照）

1．（大江）薬学部テニスコートフェンス取設に伴う立会調査（0506）

＜調査期間＞

2005年6月20日

＜調査対象面積＞

2.28㎡

＜調査員＞

大坪志子．

＜調査概要・結果＞

テニスコートを囲うフェンス支柱の基礎部分を50cm四方，60cm～70cm掘削した．包含層や遺構面は検出されず，遺物の出土もなかった．

写真112　0506調査地点調査区遠景（南より）

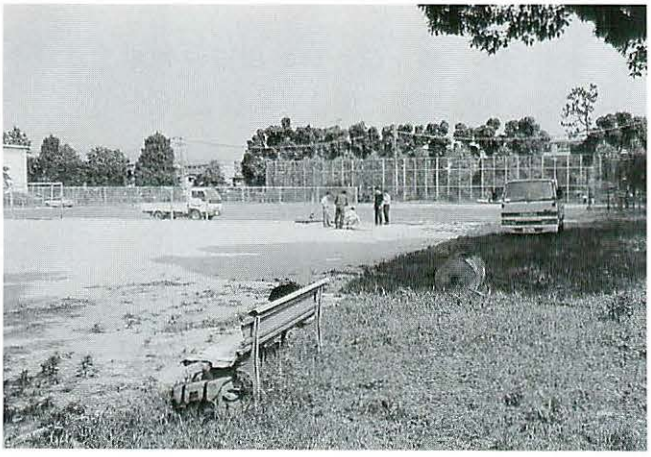
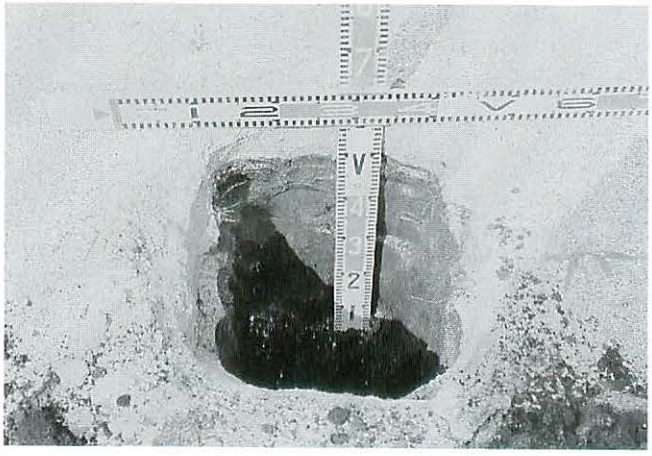


写真113　0506調査地点1トレンチ掘削状況（東より）



2．大江団地（北地区）駐車ゲート整備工事に伴う立会調査（0524）

＜調査期間＞

2005年10月11日

＜調査対象面積＞

261.33㎡

＜調査員＞

小畑弘己.

＜調査概要・結果＞

ゲート支柱および配線のため4箇所ほどの掘削部をそれぞれの掘削深度に合わせて掘削調査した.

掘削部1（深度120cm）：電気マンホール部分である. 地表下70cmで茶褐色土層が現れるが，掘削深度内においては遺構・遺物ともに検出していない. 撹乱された部分に相当する可能性あり.

掘削部2（深度60cm）：ゲート支柱部分. 地表下60cmまで現代埋め土であり，遺構・遺物ともになし.

掘削部3（深度100）：電気配管溝. 地表下80～100cmに遺物包含層相当層である黒褐色土層を検出. しかし，遺物・遺構ともに検出できなかった.

掘削部4（深度60cm）：ゲート支柱部分. 地表下に茶褐色土層を確認したが，遺物・遺構ともになし.

以上より，工事に支障はないものと判断し，慎重に工事を進めるように指導した.

写真114　0524調査地点マンホール部土層（南より）

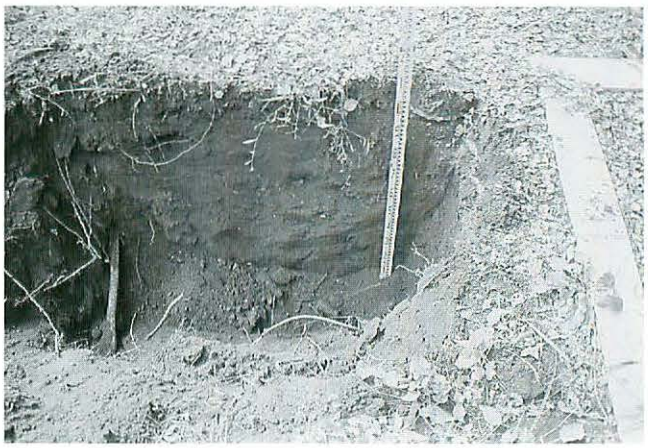


写真115　0524調査地点電線埋設部土層（南西より）

図10　薬学部地区における調査地点配置図（1/2000）

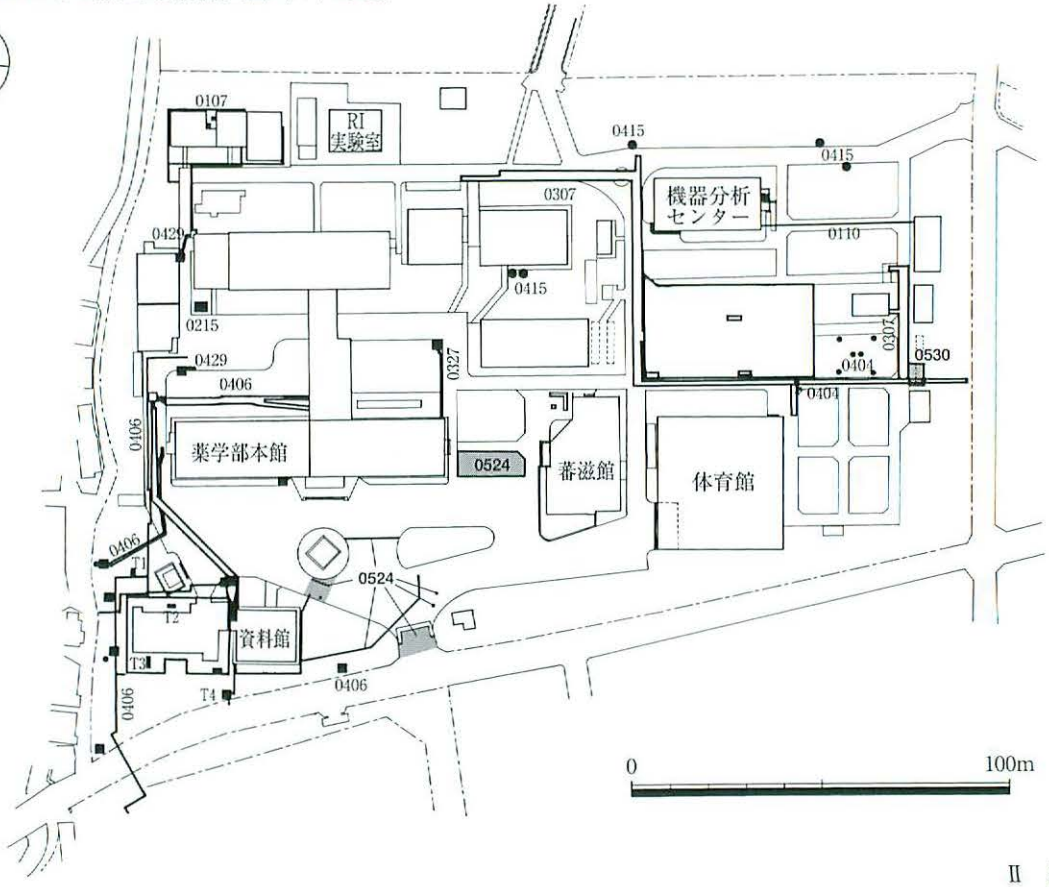


写真116　0530調査地点作業風景（北西より）

写真117　0530調査地点掘削状況（北より）

3．薬学部温床室（苗床温室）補修工事に伴う立会調査（0530）

＜調査期間＞

2005年10月26日

＜調査対象面積＞

5.5㎡

＜調査員＞

大坪志子.

＜調査概要・結果＞

現在の温室を拡張する工事である．既存の温室が台風被害に遭ったため，再建するのに伴い東側に拡張することとなった.

拡張新築する幅1.0m，長さ6.35mの範囲を，深さ6m掘削した．埋土内での掘削であり，包含層や遺構面，遺物は検出されなかった.

既存の基礎については，今回の掘削の深さよりは浅いため包含層や遺構面への影響はないと判断した．撤去に際しては，今回の掘削の深さで行うように指導をしている.

Ⅱ―9　新南部地区（教育学部附属農場）

1．教育学部新南部農場竹薮抜根に伴う立会調査（0535）

＜調査期間＞

2005年12月12日

＜調査対象面積＞

455.7㎡

＜調査員＞

大坪志子.

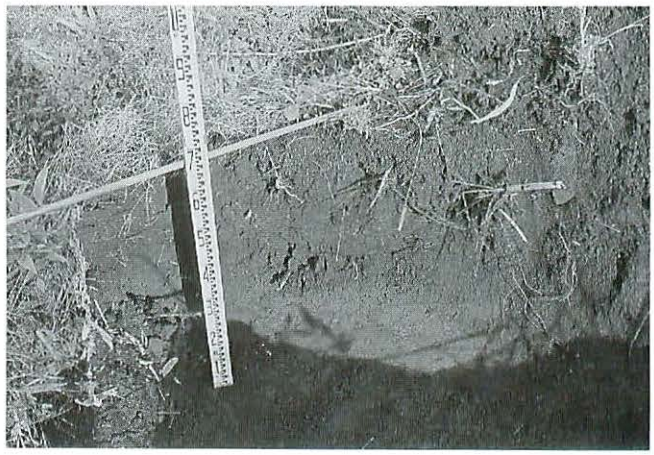
＜調査概要・結果＞

教育学部附属の農場敷地内において，東側に広がる竹薮を除去する工事である．掘削予定は0.6mであった.

竹薮の周縁に一部トレンチを入れたところ，0.4mで地山が検出された．断面にはピットも観察されたため，遺構の遺存も想定された．このため竹薮全面を予定通りに掘削する場合は，事前に発掘調査が必要であると判断し，その旨を担当者に伝えた．教育学部との協議の結果，掘削の深さを0.4mまでとすることとなった.

写真118　0535調査地点作業風景（南より）

写真119　0535調査地点掘削状況（西より）



Ⅱ—10　宇留毛地区

1．小碩宿舎埋設ガス配管漏れ補修・新設工事に伴う立会調査（0504）

＜調査期間＞

2005年６月７日

2005年６月10日

＜調査対象面積＞

７㎡

＜調査員＞

小畑弘己・大坪志子．

＜調査概要・結果＞

基礎部分15cmほどを掘り下げるが，表土内であり，遺構・遺物ともに検出していない．

新設配管部分は，幅30cm，深さ30cmで掘削した．最も深い部分は40cmである．いずれも埋土内での掘削で包含層や遺構面には達しなかった．また遺物の出土もなかった．

写真120　0504調査地点基礎部掘削風景（北西より）

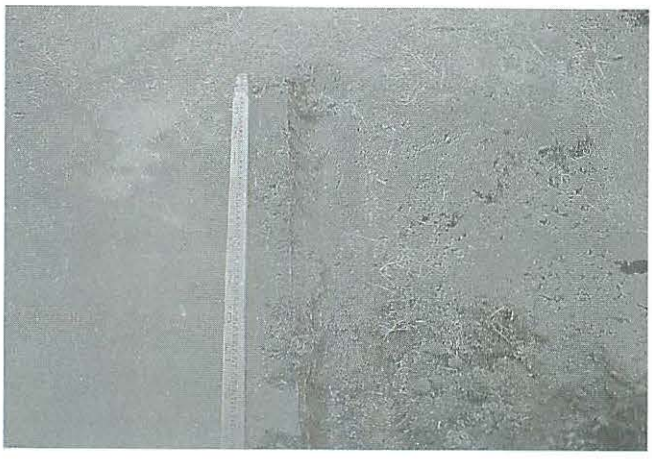
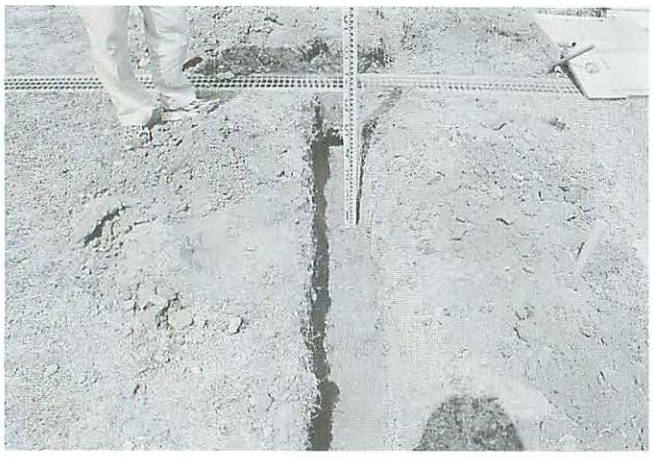


写真121　0504調査地点配線部掘削状況（東より）



跋　文

平成17年度は、埋文調査室にとってリーダーの世代交代による節目の年であった。平成6年の本室創設以来、その親委員会である埋蔵文化財調査委員会の委員長を一貫してお引き受けくださった工学部の北野隆教授が平成17年3月に年退職された。また同じ年の7月、創設以来本室を牽引してこられた甲元真之教授が、健康上の理由で室長を退かれた。この12年間着々と進んだ学内再開発と表裏をなして、本学敷地内の遺跡が適切に調査、報告され、また学内に文化財保護法への意識が徐々に定着しているのは、歴代学長をはじめ事務当局のご配慮と、お二人のリーダーの高い見識によるところが大きい。北野教授、甲元教授のこれまでのご功績にたいし、調査室として感謝と敬意を表するものである。

埋蔵文化財調査委員会の新委員長には、工学部の伊藤重剛教授が就任された。伊藤委員長には五高記念館館長の重責もありご多忙と察せられるが、大所高所から調査室をご指導いただければ幸いである。室長は木下が仰せつかった。先輩諸氏の築かれた埋蔵文化財調査室の基礎を継承すべく微力を尽くしたい。

調査室の区切りにあたり、これまでの記録を参考に、今後の課題を以下の3点にまとめてみた。

① 正式報告書の刊行：1996年度以降についての正式報告書を今後11年で作成する計画である。調査室独自の予算がない現在、施設部と連携して手立てを講じ、毎年着実に経費を確保し、刊行を実現しなければならない。

② 施設部とのさらなる連携：日常の業務において、調査にかかわる手続きや施行業者の作業に、二度手間やケアレスミスがしばしば発生する。防止にむけて協力し、作業効率をあげたい。施設部には入念なチェックをお願いしたい。調査室の安全対策の徹底、職場環境の改善、適切な遺物収納場所の確保も長年の課題である。

③ 大学における埋文調査室の意義を高める努力：埋蔵文化財調査と保護への理解と協力にむけた大学教職員、学生を対象とした広報・普及活動が必要である。

③については、平成18年度に五高記念館で特別展を開催し（平成18年11月3日～平成19年1月28日）、合わせて勾玉製作体験教室（11月18日）や講演会（12月2日）を開いた。いずれも学内外から多数の見学者、参加者を得、好評であった。また大学のホームページに五高記念館から埋文調査室へのリンクをたちあげた。五高記念館で特別展の開催に際し、協力いただいた熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、福岡市埋蔵文化財センターにお礼申し上げる。

なお、本年度から1年前の年報を作成することにした。近年、しばしば年度末まで作業が入り、当年度の年報作成が困難になったためである。

最後になったが、平成17年度事業の推進にあたって、施設部をはじめとする学内関係部局、埋蔵文化財調査委員会および学外関係機関にご協力・ご支援いただいたことを記し、あらためてお礼申し上げたい。

熊本大学埋蔵文化財室長
文学部教授　木　下　尚　子

Summary

In 1985 Kumamoto University planed a reconstruction campus. However it was known that some of campus was designated as a buried cultural properties zone. In the fiscal year 1994 Kumamoto University formed the Archaeological Investigation Committee and the Archaeological Operation Center in haste to do rescue archaeological research before building constructions. Since that time about 300 researches have been carried out.

There are two main sites in the tow other campus. The one is the Kurokamimachi site which is located in the campus of Faculty of Science, Engineering (southern area), Law, Education and Letter (northern area), on a low terrace (altitude 18 ~ 25m) formed by the Shirakawa River at the foot of Mt. Tatsuta (altitude 151.6m). The site is regarded as an ancient station named "Kokai" that is a local governmental place supplying horses for transporter or messenger. The other is the Honjo site which is located in the Kumamoto University Hospital (northern area), School of Medicine and School of Health Sciense (southern area), on a low terrace (altitude 12 ~ 13m) also formed by the Shirakawa River. The distance between the two site is 2km in a straight line. Around the Honjo site there are many huge ancient settlement sites, for example, the Oe site and the Shinyashiki site.

The number of investigations in the current year is 6 excavations and 82 presence investigations. The results of these investigations are the following.

At 0425 excavation area in Kurokamimachi site is 1,065.2㎡. The excavation was carried out before the construction of Information Network Center. As structural remains we found 30 pit houses, 2 embedded-pillar buildings and 6 ditches belonging to the ancient time (from the beginning of 8 century to the first half of 9 century). As artifacts we found Haji ware, Sue ware, iron tools, stone weight for balance of ancient time. In addition we found Jomon potteries and stone tools dated from the Early to Final Jomon. As mentioned above in the Kurokami Campus the existence of ruins of local governmental place are documented by historical literatures and we have been discovering these evidences. These discoveries, especially findings of ancient pit houses, can inform us not only the distribution of ancient village but the spatial relation between official place and settlement place well.

Other excavations (0531-1 etc.) carried out in the southern are of the Kurokamimachi site document that so many ancient pit houses distributed in full area of site and remain well except the area where the buildings constructed.

At 0509 excavation area in the Honjo site was investigated before the rebuilding of Yamasaki Memorial palace. The excavated area is 1,147㎡. As results we found remains belonging to main three periods. The earliest remains in this area are Jomon materials consisted of potteries and stone tools, adz or obsidian flakes. The second period is the Middle Kofun Period (the first half of 5 century). As structural remains we found 7 pit houses containing many wares. The last period is the ancient time (from the later half of 7 century to the first half of 9 century). As structural remains of the period we fond 10 pit houses and 1 deep ditch. In the ditch a piece of Sue ware carved on which bottom a letter "Big" yielded. At 0411 excavated in the last year we found almost structural remains. The ditch continues to the 0411 excavation area. As artifacts the a mount of potteries belonging to each periods, bronze coins of Middle Age and Early Modern Period, an iron knife of Early Modern Period, an iron arrowhead of Ancient Time, and stone sinkers and a cylindrical bead of Kofun Period.

The discovery of the remains of Kofun Period is the new information for us and very significant to demonstrate that a village of the Middle Kofun Period that having been unknown in the Honjo site distributes around this area.

쿠마모토 대학교는 건물이 낡아서 1985 년 부터 재건축 계획을 세우고 있었으나, 대학이 있는 구내지역이 유적포함지로 지정되어 있다는 사실을 알게 되었다. 그 때문에 개건설을 하기 전에 매장문화재의 발굴조사를 위해 급거 조사위원회와 조사실을 편성해, 1994 년 부터 조사를 해왔다.

구내지역의 유적은 크게 두 지구로 나누어진다. 하나는 이학부/공학부(남지구), 교육학부/법학부/문학부(북지구)가 자리하고 있는 쿠로카미 캠퍼스로, 쿠로카미마치(黒髪町)유적의 일부에 해당한다. 이 유적은 타쓰타산(立田山)(표고 151.6m) 기슭의 저위하안단구(표고 18~25) 상에 위치하며, 고대 고카이(蚕養)의 역전으로 추정되고 있다. 또 하나는 의학부/보건학과(남지구), 대학부속병원(북지구)이 자리하고 있는 혼조(本庄)캠퍼스이다. 이 지구는 혼조(本庄)유적의 일부이며, 쿠로카미마치유적과 마찬가지로 시라카와(白川)가의 저위안단구(표고 12~13m) 상에 위치한다. 혼조유적은 쿠로카미마치유적으로부터 직선거리로 2km 쯤 떨어져 있다. 이 유적과 근접한 곳에 오오에(大江)유적과 신야시키(新屋敷)유적 등 큰 고대 취락 유적이 있다.

올 년도에 실시한 조사 건수는, 발굴 조사 6 건, 입회 조사 82 건이었다. 주된 조사 결과는 다음과 같아.

0425 조사 지구는 쿠로카미마치유적안에 있다. 발굴된 면적은 1,065.2 ㎡였다. 발굴조사는 정보네트워크센터를 건설하기 위해 실시되었다. 조사의 결과, 유구로 고대(8 세기 초부터 9 세기 전반까지)에 속한 수혈주거지 30 기와 굴립주건물 2 기와 도랑 6 조이 검출되었다. 유물로서는 고대의 하지기와 수에기, 철기 이외에 죠몬시대의 도기와 석기가 출토되었다. 위에서 말한 것처럼 이 유적안에서는 고대의 지방 관청 시설이 있음을 문헌으로 알 수 있으며 실제로 지금까지의 조사로 관련된 유구가 발견되어 왔다. 이 번의 고대 주거지들의 발견은 고대 취락의 범위를 알려 주는 뿐만아니라 취락과 관청지구의 위치 관계도 알려 준다.

쿠로카미 남구에서 실시된 다른 발굴조사들도 이 일대에 고대 취락이 뻗쳐 있는 것을 다시 아려 주었다.

0509 조사 지구는 야마사키 기념관의 이동을 위해서 발굴되었다. 조사된 면적은 1, 147 ㎡였다. 조사의 결과, 주된 유적의 시기는 3 개에 나눌 수 있다. 가장 이른 유물들이 죠몬 시대의 속한다. 토기 의외에 도끼이나 흑요석 박편과 같은 석기도 출토되었다. 다음 시기는 고분시대 중기(5 세기 전반)이다. 안에 많는 토기를 포함하고 있는 수혈주거지 7 기 검출되었다. 마지 막 시기는 고대(7 세기말부터 9 세기 전반까지)이다. 그 시기의 유구러서는 수혈주거지 10 기와 아주 깊은 도랑 1 조가 검출되었다. 그 도랑안에서는 "대" 의 문자가 새겨진 수에키의 접시변 하나가 출토되었다. 이런 유구들을 작년에 조사된 0411 조사 지구에서도 나왔으며 도랑도 이 조사구까지 길어지고 있다. 유물러서는 금세와 중세의 동전, 금세의 철제 칼, 고대 화살촉, 석추, 대롱옥등이 출토되었다.

고분시대 중기의 집터들은 이 유적에서는 공백시기의 유구이며 이 시기 취락이 이 이대에 넓게 뻗쳐 있을 알 수 있는 경기가 되었다.

付篇1　2005年度熊本大学埋蔵文化財保護対策組織

1．国立大学法人熊本大学埋蔵文化財調査委員会規則（H17．4．1～）

（設　置）

第1条　国立大学法人熊本大学（以下「本学」という。）に、国立大学法人熊本大学埋蔵文化財調査委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（任　務）

第2条　委員会は、本学の施設整備に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関する重要事項を調査審議する。

（組　織）

第3条　委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

(1)　各学部、大学院自然科学研究科及び医学部附属病院から選出された教授又は助教授　各1人

(2)　施設部長

(3)　埋蔵文化財調査室長

(4)　その他委員会が必要と認めた者　若干人

2　前項第1号及び第4号の委員は、学長が委嘱する。

3　第1項第1号及び第4号の委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

4　第1項第1号及び第4号の委員に欠員を生じた場合の補欠の委員の任期は、前項の規定にかかわらず、前任者の残任期間とする。

（委員長）

第4条　委員会に委員長を置き、委員の互選によって定める。

2　委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

3　委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名する委員がその職務を代行する。

（議　事）

第5条　委員会は、委員の過半数が出席しなければ、議事を開き、議決をすることができない。

2　委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（意見の聴取）

第6条　委員長は、必要があるときは、委員以外の者を出席させ意見を聴くことができる。

（調査室）

第7条　委員会に、埋蔵文化財の発掘調査に関する業務を行うため、埋蔵文化財調査室（以下「調査室」という。）を置く。

2　調査室の業務、組織その他必要な事項については、別に定める。

（事　務）

第8条　委員会の事務は、施設部施設企画課において処理する。

（雑　則）

第9条　この規定に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附　則

1　この規則は、平成17年4月1日から施行する。

2　この規則施行後、最初に委嘱される第3条第1項第1号の委員は、同号の規定にかかわらず、この規則施行の際現に熊本大学埋蔵文化財調査委員会委員である者をもって充てるものとし、その任期は、同条第3項の規定にかかわらず、平成18年3月31日までとする。

2．熊本大学埋蔵文化財調査室要項

（趣　旨）

第１条　この要項は、国立大学法人熊本大学埋蔵文化財調査委員会規則（平成16年４月１日制定）第７条第２項の規定に基づき、国立大学法人熊本大学埋蔵文化財調査室（以下「調査室」という。）の業務、組織その他必要な事項について定める。

（業　務）

第２条　調査室は、国立大学法人熊本大学（以下「本学」という。）の施設整備に伴う埋蔵文化財の発掘調査に関する次の業務を行う。

(1)　実施計画の立案及び実施に関すること。

(2)　出土した埋蔵文化財の整理、保管及び保存に関すること。

(3)　文化庁等に提出する報告書の作成に関すること。

(4)　その他必要な事項

（組　織）

第３条　調査室に室長を置く。

２　室長は、調査室に関する業務を掌理する。

３　調査室に調査員その他必要な職員を置くことができる。

４　調査員は発掘調査に関する業務を行う。

（室長等の任命）

第４条　室長及び調査員は、本学の教官のうちから学長が任命する。

２　学長は、必要がある場合は、学外の者を調査員に委嘱することができる。

（事　務）

第５条　調査室の事務は、関係学部等の協力を得て、施設部施設企画課において処理する。

（雑　則）

第６条　この要項に定めるもののほか、調査室の運営に必要な事項は、学長が定める。

附　則

この要項は、平成16年４月１日から実施する。

3．2005年度熊本大学埋蔵文化財保護対策組織

1　埋蔵文化財調査室組織（2005年４月１日現在）

＜室　長＞	（併・文学部教授）	甲元　眞之（2005．4．1～2005．7．31）
	（併・文学部教授）	木下　尚子（2005．10．1～）
＜調査員＞	（併・文学部助教授）	小畑　弘己
	（併・文学部助手）	大坪　志子
		橿　佳克（2005．1．17～2007．3．30）
＜事務補佐員＞		前田　知聖
＜室内作業員＞（2005年10月～2006年３月）		伊藤　千代子
		小山　正子
		古賀　敬子
		泗水　直子
		末吉　美紀
		溜渕　俊子

長谷　智子
増井　弘子
山嵜　早苗

2　埋蔵文化財調査委員会

委員長	北野　　隆	（熊本大学工学部教授）	任期（2003．4．1～2006．3．31）
委　員	杉井　　健	（文学部助教授）	（2005．4．1～2007．3．31）
	黨　　武彦	（教育学部助教授）	（2005．4．1～2007．3．31）
	若曽根健治	（法学部教授）	（2005．4．1～2007．3．31）
	木村　弘信	（理学部教授）	（2005．4．1～2006．3．31）
	三浦　　洌	（医学部教授）	（2005．4．1～2007．3．31）
	今村　順茂	（薬学部助教授）	（2005．4．1～2007．3．31）
	森下　昭治	（附属病院助教授）	（2005．4．1～2006．3．31）
	伊東　龍一	（自然科学研究科助教授）	（2005．4．1～2007．3．31）
	森川　能任	（施設部）	（2005．1．1～）
	甲元　眞之	（埋蔵文化財調査室長）	（1994．5．16～2005．7．31）
	木下　尚子	（埋蔵文化財調査室長）	（2005．10．1～）

審議事項

2005年４月28日　第20回埋蔵文化財調査委員会議事要録確認
委員名簿確認
委員会規則について
平成16年度埋蔵文化財発掘調査結果について
平成17年度埋蔵文化財発掘調査予定について
今後の埋蔵文化財発掘の届出について
その他

2006年３月10日　第21回埋蔵文化財調査委員会議事要録確認
木下埋蔵文化財調査室長の紹介について
平成17年度埋蔵文化財発掘調査概要報告について
北野委員長退任挨拶
その他

【室長】

付篇２　埋蔵文化財調査室2005年度調査・研究活動記録

甲元眞之

・平成17年度　文部科学省科学研究費補助金　基盤研究（A）（１）海外学術調査「極東地域における前期完新世の環境変化と生業システムの適応に関する研究」研究代表者
・平成17年度　文部科学省科学研究費補助金　基盤研究（A）（１）海外学術調査「中国・中原地域出土古人骨の人類学的研究」分担研究者
・平成17年度　文部科学省科学研究費補助金　萌芽研究（A）「考古資料に基づく『寒冷化現象』把握のための基礎的研究」研究代表者
・平成17年度　文部科学省科学研究費補助金　基盤研究（B）（２）「雑穀資料からみた極東地域における農耕受容と拡散過程の実証的研究」分担研究者

第２回九州古代種子研究会（2005年９月３・４日）開催

木下尚子

・平成17年度　文部科学省科学研究費補助金　基盤研究（B）（２）「琉球列島における農耕社会形成過程の解明に向けた実証的研究―５～７世紀を中心に」研究代表者
・平成17年度　文部科学省科学研究費補助金　基盤研究（A）（２）　海外学術調査「13～14世紀海上貿易からみた琉球国成立要因の研究」研究代表者
・平成17年度　基盤研究（A）（２）　海外学術調査「台湾人の口述歴史の採集分析に基づく日本統治から戦後への台湾社会の転換に関する研究」研究分担代表者

【調査員】

小畑弘己

・平成17年度　日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（B）（２）「雑穀資料からみた極東地域における農耕受容と拡散過程の実証的研究」研究代表者
・平成17年度　日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（A）（１）海外学術調査「極東地域における前期完新世の環境変化と生業システムの適応に関する研究」研究分担者
・平成17年度　文部科学省科学研究費補助金　特定領域研究「中世考古学の総合的研究－学融合をめざした新領域創生－」研究区分C01－２「北東アジア中世遺跡の考古学的研究」研究分担者
・平成17年度　文部科学省科学研究費補助金　特定領域研究「東アジアの海域交流と日本伝統文化の形成－寧波を焦点とする学際的創生－」研究区分C01－06「16世紀の東アジア海域と寧波－博多関係」研究分担者
・平成17年度　日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（A）（１）海外学術調査「13～14世紀海上貿易からみた琉球国成立要因の実証的研究－中国福建省を中心に－」研究分担者
・平成17年度～18年度　科学研究費補助金研究成果報告書『考古学資料に基づく「寒冷化現象」把握のための木戸的研究』萌芽研究　課題番号17652074研究分担者

・Society for American Archaeology 70th Annual Meeting 研究発表（March 30 － April 3, 2005）
・日本考古学協会第71回総会研究発表会研究発表（2005年５月21・22日）
・第２回九州古代種子研究会開催・研究発表（2005年９月３・４日）
・國學院大學21COE プログラム研究集会研究発表（2005年11月19日）
・第19回古代学協会四国支部研究大会研究発表（2005年12月17日）
・第16回九州縄文研究会大分大会研究発表（2006年２月10日）
・第７回北アジア調査研究報告会研究発表（2006年２月４・５日）

大坪志子

・熊本市立博物館考古学講座　講師（縄文時代担当）（2005年６月４日）
・第２回九州古代種子研究会発表（2005年９月３・４日）

檀　佳克

・瀬高町歴史資料館歴史講座新幹線発掘調査で甦る瀬高町発表（2005年９月24日）
・九州考古学第80号「九州出土の棒状浮文を有する土師器に関する一考察」

報告書抄録

ふりがな	くまもとだいがくまいぞうぶんかざいちょうさしつねんぽう 12
書名	熊本大学埋蔵文化財調査室年報 12
副書名	
巻次	
シリーズ名	熊本大学埋蔵文化財調査室年報
シリーズ号	12
編著者名	甲元眞之・木下尚子・小畑弘己・大坪志子・檀佳克・中川木綿子
編集機関	熊本大学埋蔵文化財調査室
所在地	〒860-8555 熊本県熊本市黒髪2-39-1 TEL. 096-342-3832 FAX. 096-342-3832
発行年月日	2007年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
くろかみまち 黒髪町遺跡 (0425地点)	くまもと 熊本県 熊本市 くろかみ 黒髪	43 201	278	32° 48′ 54″	130° 43′ 40″	20050509 ～ 20050610	1065.2㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
ほんじょう 本庄遺跡 (0509地点)	くまもと 熊本県 熊本市 ほんじょう 本荘	43 201	285	32° 47′ 41″	130° 42′ 38″	20050509 ～ 20050610	1065.2㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
くろかみまち 黒髪町遺跡 (0513工①地点)	くまもと 熊本県 熊本市 くろかみ 黒髪	43 201	278	32° 48′ 46″	130° 43′ 39″	20050808 ～ 20050818	80.88㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
くろかみまち 黒髪町遺跡 (0513理①地点)	くまもと 熊本県 熊本市 くろかみ 黒髪	43 201	278	32° 48′ 48″	130° 43′ 44″	20050901 ～ 20050913	67.6㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
くろかみまち 黒髪町遺跡 (0513理⑥地点)	くまもと 熊本県 熊本市 くろかみ 黒髪	43 201	278	32° 48′ 48″	130° 43′ 46″	20051129 ～ 20051205	24㎡	学校敷地内の開発事業に伴う
くろかみまち 黒髪町遺跡 (0513理⑩地点)	くまもと 熊本県 熊本市 くろかみ 黒髪	43 201	278	32° 48′ 47″	130° 43′ 46″	20060104 ～ 20060119	89㎡	学校敷地内の開発事業に伴う

所収遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
くろかみまち 黒髪町遺跡 (0425地点)	集落址	縄文・古代	竪穴住居址 掘立柱建物 溝	縄文土器・縄文石器 古代土師器・須恵器 古代鉄器・石権	
ほんじょう 本庄遺跡 (0509地点)	散布地 集落跡 墓地	縄文・弥生 古墳・古代	竪穴住居址・溝	縄文土器・弥生土器 土師器・須恵器 古代鉄鏃・石錘・刀子	
くろかみまち 黒髪町遺跡 (0513工①地点)	集落址	古代	竪穴住居址・柱穴	古代土師器・須恵器	
くろかみまち 黒髪町遺跡 (0513理①地点)	集落址	縄文・古代	竪穴住居址	縄文土器 古代土師器・須恵器	
くろかみまち 黒髪町遺跡 (0513理⑥地点)	集落址	古代	住居址・溝 ピット	古代土師器・須恵器	
くろかみまち 黒髪町遺跡 (0513理⑩地点)	集落址	古代	住居址・溝 ピット	古代土師器・須恵器 陶磁器	

熊本大学埋蔵文化財調査室年報12
―2005年度―

平成19年3月26日　印刷
平成19年3月30日　発行

編集兼発行者　熊本大学埋蔵文化財調査室
熊本市黒髪2－39－1
電話（096）342－3832
印刷所　シモダ印刷株式会社

Published by
Archaeological Operation Center
Kumamoto University
Kumamoto, 2006